

ChattyPad AITalk版

基本操作ガイド



- ※ Windows 用のアプリケーションソフトウェアです。(ChromeOS や iOS には対応していません。)
- ※ ChattyPad_AITalk 版は、インターネットに接続された状態でしかご利用いただけません。

2025 年 8 月 8 日版



NPO 法人
サイエンス・アクセシビリティ・ネット

目次

0. 追加・変更.....	8
0-1. 読み設定（42 ページ）	8
1. テキストの編集.....	9
1-1. ファイルの保存	9
1-2. テキストの入力	9
1-3. 斜体にする.....	9
1-4. 太字にする.....	9
1-5. 下線を引く.....	10
1-6. 打消し線を引く	10
1-7. 脚注番号・記号を付ける	10
1-8. コメント行にする	10
1-9. 文字列の配置	11
1-10. 枠線で囲む.....	11
1-11. ルビをふる.....	12
1-12. 分かち書きと連文節区切り機能.....	14
1-13. 置換	14
1-13-1 音声による読み上げ	15
1-14. 拡張クリップボード機能	15
1-14-1. 拡張クリップボードにコピー（登録）	15
1-14-2. 拡張クリップボードからペースト（貼り付け）	16
1-14-3. その他の操作.....	16
1-15. 表の作成	17
1-15-1. 表の見出し機能	18
1-15-2. 選択範囲を表に変換	19

1-15-3. 表のリフロー（自動折り返し）機能	20
1-16. 行ごとの表示フォントサイズ変更	21
1-17. 表示フォントの種類・サイズ変更	21
1-18. 表示倍率の変更.....	22
1-19. 配色の変更.....	22
1-20. 書式の一括削除.....	23
1-21. 箇条書き	23
1-22. カーソル移動モード設定	25
2. 画像の挿入と編集	26
2-1. 画像の挿入.....	26
2-2. 画像の編集.....	26
2-3. OCR 画像の利用.....	27
3. 数式の編集.....	28
3-1. 数式の入力.....	28
3-2. 数式レベルの設定.....	29
3-3. 分数の入力.....	30
3-4. 指数・添え字の入力	30
3-5. 根号の入力.....	30
3-6. 筆算の入力 — 足し算・引き算.....	31
3-7. 筆算の入力 — 掛け算.....	32
3-8. 筆算の入力 — 割り算.....	33
3-9. 連立方程式の入力	34
3-10. 数式番号の入力.....	35
4. 化学式の編集	36
5. 音声の調整.....	37

5-1. 読み上げ	37
5-1-1. 読み上げの ON/OFF	37
5-1-2. Shift キーによる読み上げ開始と停止	37
5-2. 標準話者の選択	38
5-3. 話者の切り替え	39
5-3-1. 英語音声での話者指定	39
5-3-2. 画像設定での話者指定	41
5-4. 話者の詳細設定	41
5-5. 読み設定	42
5-5-1. 読み設定の仕方（アクセント制御あり）	42
5-5-2. 漢字を使つての読み設定（アクセント制御なし）	44
5-6. ポーズの挿入	45
5-6-1. 文章中への挿入	45
5-6-2. 画像への挿入	45
5-7. 無音化	46
5-7-1. 任意の文字列の無音化	46
5-7-2. 一文字の無音化	46
5-8. 読み上げ定義の選択	47
5-9. 数式読み上げモードの選択	47
5-10. ハイライト単位の設定	48
5-11. 任意の箇所でのハイライトを区切る	49
5-11-1. 間合いの開かないハイライト区切り	49
5-12. ハイライトの結合（フレーズ結合機能）	50
5-13. 化学式の添字の読み方の変更	51
6. コンテンツの構造化	52

6-1. ページ番号の設定	52
6-2. セクションの分割と階層化.....	52
6-3. セクションの分割/結合	55
6-4. 縦書き横書き (AITalk 版・SAPI 5 版日本語モード)	55
6-5. セクションタイトル	56
6-6. タイトル行設定	56
6-7. セクションの移動	57
6-8. ページ区切り	57
6-9. ファイルの読み込み	58
7. アニメーションの作成	59
7-1. 作成方法 1 複数画像を選択して	59
7-2. 作成方法 2 編集画面上の既存画像から	60
7-3. アニメーションの編集.....	61
7-3-1. 読み上げ音声・ポーズの付加	61
7-3-2. フレームの複製	62
7-3-3. フレームの削除	62
7-3-4. ファイルやクリップボードから挿入する	63
7-3-5. フレームの移動	64
7-3-6. マスキングツール.....	64
7-3-7. ペイントツール	65
8. ハイライト領域編集機能.....	66
8-1. 画像中の文字をハイライトしながら読み上げる機能.....	66
8-2. ハイライト領域の編集.....	69
8-2-1. ハイライト領域の選択.....	69
8-2-2. 複数のハイライト領域の範囲指定と操作	69

8-2-3. キー操作での複数選択.....	69
8-2-4. ハイライト領域の結合.....	70
8-2-5. ハイライト領域の分割.....	70
8-2-6. ハイライト領域の削除（切り取り）と貼り付け.....	70
8-2-7. ハイライト領域の移動.....	71
8-2-8. ハイライト領域をまとめて移動.....	71
8-2-9. ハイライト領域のサイズ変更.....	71
8-2-10. ハイライト領域をまとめてサイズ変更.....	71
8-2-11. 読み上げテキストの再編集.....	72
8-2-12. 読み上げの順番（ハイライト領域の順番）の変更.....	72
8-2-13. ハイライト領域のグループ化.....	73
8-2-14. アンドゥ・リドゥ（元に戻す・やり直す）機能.....	75
8-2-15. 新規ハイライト領域の挿入位置.....	75
8-2-16. 日本語/英語話者切り替え.....	75
8-2-17. 読み上げテキスト表示.....	76
8-2-18. 連続再生.....	77
8-2-19. 保存機能.....	77
8-2-20. ChattyBook の再生停止機能.....	78
8-2-21. サブインデックス機能.....	79
8-2-22. 「検索」と「置換」機能.....	79
8-3. 画像の中に文字を書き込み読み上げるハイライト領域編集（ルビ付け可能）.....	80
8-4. ハイライト領域機能とアニメーション機能の比較.....	82
9. PDF から「認識してはりつけ」機能（オプション）.....	83
9-1. 使用条件.....	83
9-2. 使い方.....	83

10. OCR 元画像インライン対応	87
11. ハイパーリンク機能.....	88
12. ショートカットキー一覧.....	92
ファイル操作.....	92
インデックス操作.....	92
編集.....	93
挿入.....	93
検索.....	94
書式.....	94
表示.....	96
読み上げ機能.....	96
設定.....	97
ハイライト領域編集.....	97
ヘルプ	98
その他	98

0. 追加・変更

0-1. 読み設定 (42 ページ)

1. テキストの編集

1-1. ファイルの保存

新規保存 : [ファイル] → [名前を付けて保存] / Ctrl + S

上書き保存 : [ファイル] → [上書き保存] / Ctrl + S



※ 「imlx」という形式で保存されます。

※ 自動バックアップ機能はありますが、こまめに保存することをお勧めします。

1-2. テキストの入力

入力モードには、「**テキストモード**」「**数式モード**」「**化学式モード**」の3種類があります。

数式・化学式以外のテキストを入力する場合は、「**テキストモード**」を選択します。

[書式] → [テキストモード]

Ctrl + スペース で [テキストモード] と [数式モード] とが切り替え。



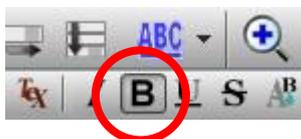
1-3. 斜体にする

文字を選択 → Ctrl + I



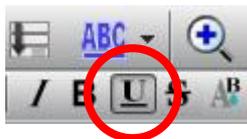
1-4. 太字にする

文字を選択 → Ctrl + B



1-5. 下線を引く

文字を選択 → **Ctrl** + **U**



1-6. 打消し線を引く

文字を選択 → **Ctrl** + **K**



1-7. 脚注番号・記号を付ける

任意の文字や記号を、上付きあるいは下付きにすることができます。

文字・記号を選択／脚注番号・記号をつけたい語句の後で → ボタンをクリック

【上付き】



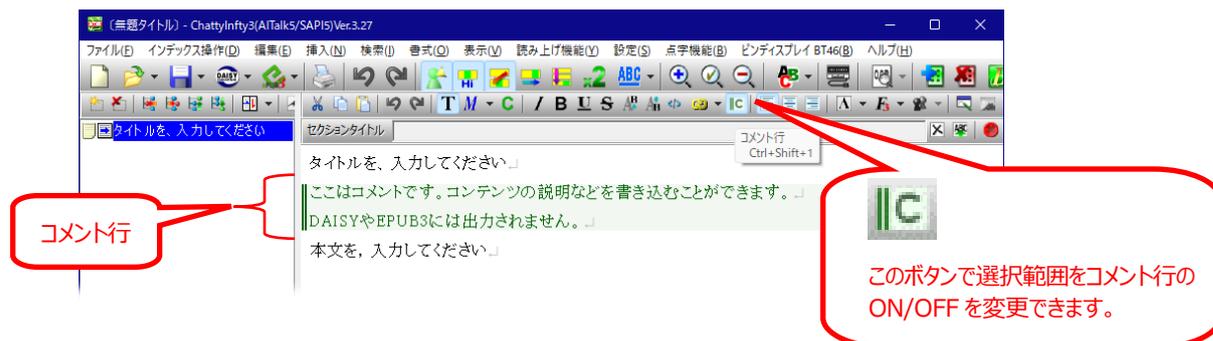
【下付き】



1-8. コメント行にする

コンテンツに説明文などを記述することができます。

コメントに指定された範囲は DAISY や EPUB3 などには出力されません。



1-9. 文字列の配置

左寄せ :  + 

中央寄せ :  + 

右寄せ :  + 



1-10. 枠線で囲む

枠線で囲みたい語句を選択し、ボタンから枠の種類を選択します。

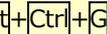
枠線を削除するには、枠線で囲まれた語句を選択し、メニューボタンから「囲み枠なし」を選択します。



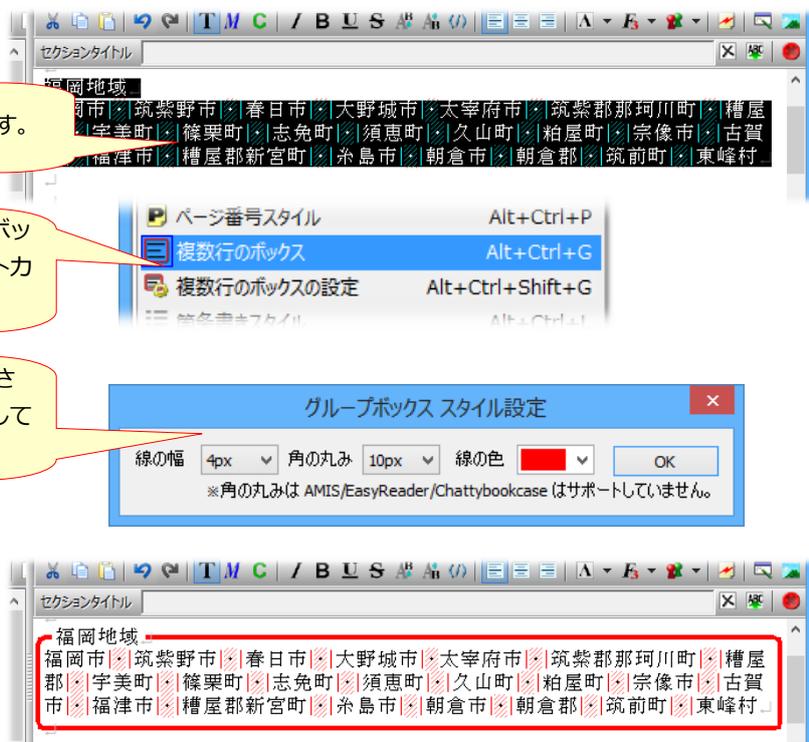
■ 複数行の枠囲み

書式メニューの「複数行のボックス」で、複数行に渡る枠囲みを設定できます。

① 編集画面で複数行を選択します。

② 書式メニューから「複数行のボックス」を選択します。ショートカットキーは 

③ 枠のスタイル設定画面が表示されますので、任意の値を設定してOKをクリックします。



※ 一旦設定したボックスのデザインを変更するには、書式メニューの「複数行のボックスの設定」をクリックします。

※ 枠囲み指定を解除するには、枠が込の範囲内で再度「書式」メニューから「複数行のボックス」を選択するか、**Alt + Ctrl + G**で解除します。

複数行の枠囲みは、1行目にテキストを設定すると、DAISYで枠囲みの見出しになります。

1行目にテキストを設定しない場合は、選択範囲の外側の枠囲みとしてDAISY出力されます。

福岡地域

福岡市・筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府町・篠栗町・志免町・須恵町・久山町・粕屋町・

見出し有りの場合

福岡市・筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府篠栗町・志免町・須恵町・久山町・粕屋町・宗

見出し無しの場合

【注意事項】

見出しを設定した枠囲みの場合は、AMIS・EasyReader・ChattyBooksなどWindowsのInternetExplorerを利用したDAISYビューアーでは、丸みのない四角い枠として表示します。

(IEがサポートしていないため、角の丸みが表示できません。) また、見出しが有る枠囲みを縦書きで出力した場合、プレーヤーによっては表示に不具合がでることがあります。

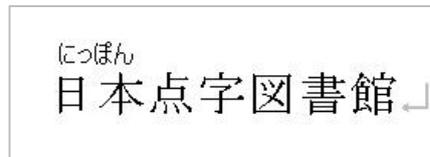
1-11. ルビをふる

① 語句を選択 → **Ctrl** + **Shift** + **↑**



② ルビを入力 → **適用**

選択した語句にルビがふられます。



【ルビの削除】

① ルビをふった語句を選択 → **Ctrl** + **Shift** + **↑**

② ルビを削除 → **適用**



【ルビ設定の便利機能】

適用して次に を実行すると、まず選択した語句に設定が適用され、次に文書内の同じ語句が検索されます。

次の語句だけに同じ設定を適用したい場合は、**適用** を実行します。

次の語句にも同じ設定を適用し、引き続き同じ語句の検索を続けるには、**適用して次に** を実行します。

次の語句には適用せず、同じ語句の検索を続けるには、**次を検索** を実行します。

文書内の語句すべてに設定を適用するには、**すべて適用** を実行します。

1-12. 分かち書きと連文節区切り機能

僕は // 水面を / はねる / イルカを // 見た。

「/」は分かち書きで、「//」は連文節の分かち書きを表します。

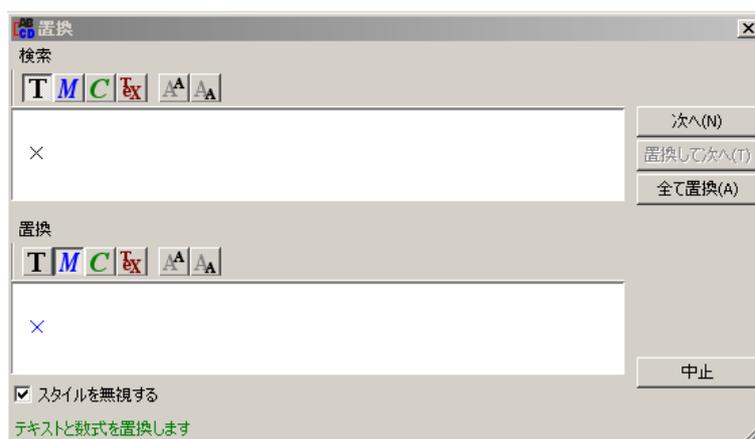
Ctrl+[W] 分かち書き

Ctrl+Shift+[W] 連文節区切り

※このショートカットはトグルになっており、連続して同じ操作を行うと分かち書きと連文節区切りが切り替わります。

1-13. 置換

置換したい文字列を選択し、「検索」 → 「置換」をクリックすると置換画面が表示されます。下は「× (テキスト)」を「× (数式)」に置換する例です。



【置換の便利機能】

置換して次に実行すると、まず選択した文字列が置換され、次に文書内の同じ文字列が検索されます。

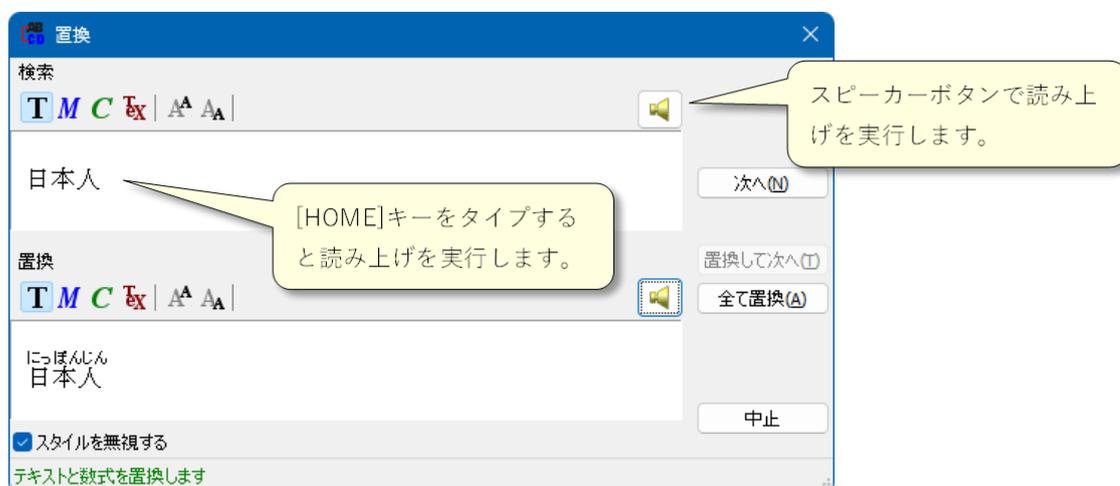
次の文字列には適用せず、同じ文字列の検索を続けるには、「次へ」を実行します。

文書内の文字列すべてを置換するには、「全て置換」を実行します。

1-13-1 音声による読み上げ

使用方法は従来の検索(Ctrl+F)と置換(Ctrl+H)による操作は変わりません。

検索・置換画面のスピーカーアイコンをクリックするか、入力領域で HOME キーをタイプすることにより読み上げを実行します。



1-14. 拡張クリップボード機能

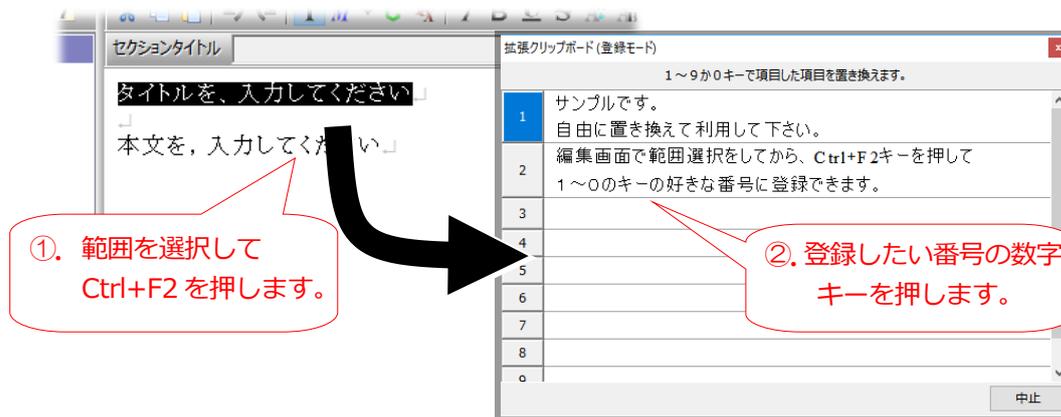
従来のコピー & ペーストでは1件のテキストや数式のみを記憶することしか出来ませんでした。Ver3.20以降では複数の項目を記録(コピー)しておき、任意に貼り付けて使うことが出来るようになりました。

1-14-1. 拡張クリップボードにコピー(登録)

編集画面上で任意の範囲を選択(Shiftを押しながら→キー)して、**[Ctrl]+[F2]**キーを押下すると拡張クリップボードの画面が表示されますので、数字キーを押して任意の項目に登録することが出来ます。

※ **[0]**キーを押すと10番目の項目に登録されます。

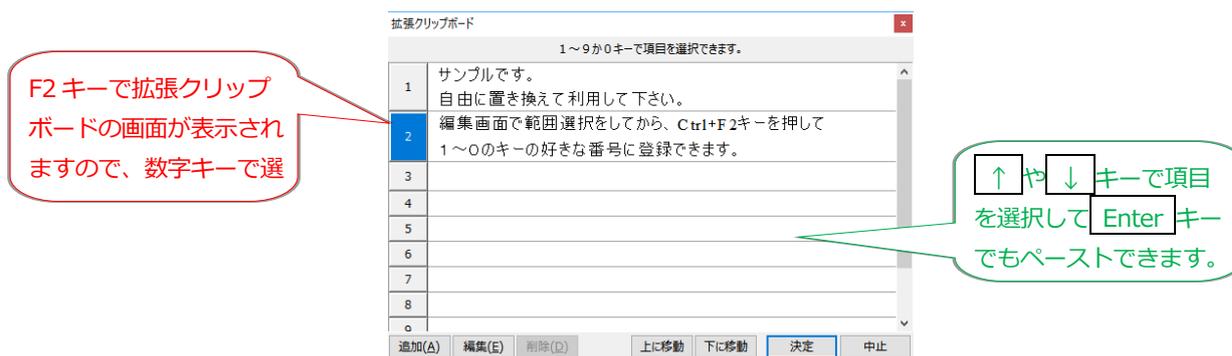
数字キーを入力すると登録が完了して拡張クリップボードの画面は消えます。



※既に登録済みの番号を選択した場合は確認メッセージが表示されます。

1-14-2. 拡張クリップボードからペースト (貼り付け)

編集画面上の任意の位置で **[F2]** キーを押すと拡張クリップボードの画面が表示されますので、コピーのときと同じように数字キーを押すと目的の項目が編集画面に挿入されます。



1-14-3. その他の操作

追加ボタン … 10番目以降に新たな項目を作成することができます。
10番目以降は上下キーで選択して決定ボタン又はEnterキーでペースト操作になります。

編集ボタン … 登録済みの項目を修正することも可能です。

削除ボタン … 10番目以降に追加した項目を削除することができます。

上・下に移動 … 各項目の順番を任意に入れ替えることができます。

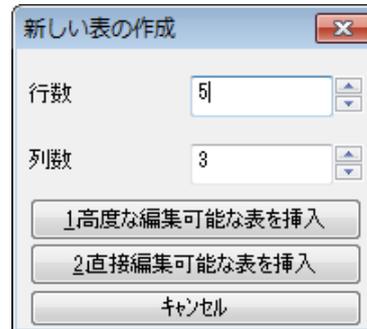
1-15. 表の作成

[挿入] → [表を挿入] / Ctrl + Shift + T

③ 行数と列数を入力

④ 高度な編集可能な表を挿入 /

直接編集可能な表を挿入 を選択

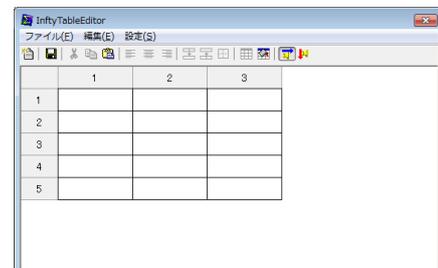


【高度に編集可能な表】

作成された表をダブルクリックすると、「Infty Table Editor」が立ちあがります。

このエディタでセルの結合などさまざまな編集ができます。

セル内で改行を入れたいがハイライトは分割させたくない場合、「Shift+Enter」で改行を行ってください。



【直接編集可能な表】

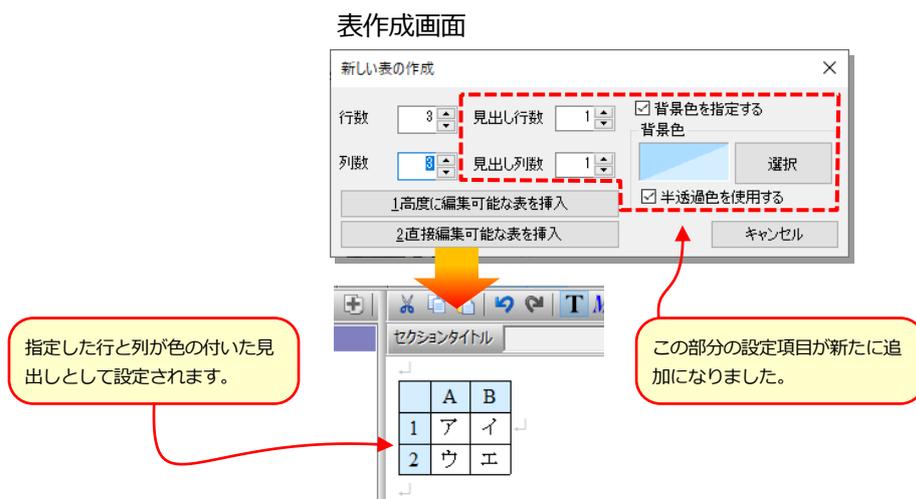
作成された表のセルに直接入力ができます。セルの幅は、入力文字数によって自動的に伸縮します。

表の上で右クリックすると表示されるコンテキストメニューから、さまざまな編集ができます。

項目	Aさん	Bさん

元に戻す(U)	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+Y
切り取り(T)	Ctrl+X
コピー(C)	Ctrl+C
貼り付け(P)	Ctrl+V
削除(D)	Del
表の詳細設定	Ctrl+Shift+T
上に1行挿入	Shift+Enter
下に1行挿入	Shift+Delete
行を削除	Shift+Delete
前方に1列挿入	Shift+Ctrl+Enter
後方に1列挿入	Shift+Ctrl+Enter
列を削除	Shift+Ctrl+Delete
表を縦方向に読み上げる	

1-15-1. 表の見出し機能

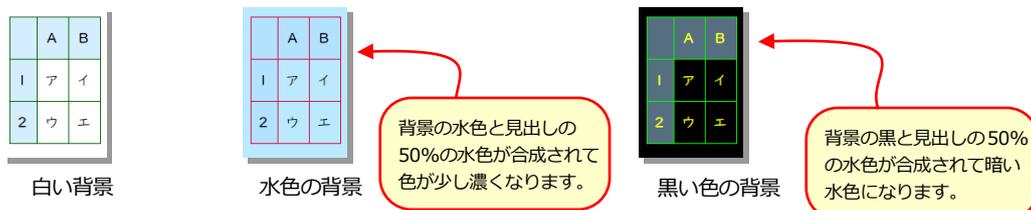


見出し行と列を指定することにより、視覚的に判りやすい表を作成することが出来ます。

項目	詳細
見出し行数	表の上側の見出し部分を指定します。
見出し列数	表の左側の見出し部分を指定します。
見出しに色を指定する	チェックを ON にすると、見出しに色を付けることが出来ます。
色を指定	見出しの背景色を選択します。
透過色を使用する	編集画面の背景に対して見出し色を50%の濃度で着色します。

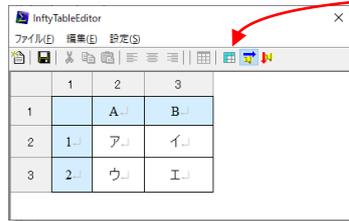
背景色を透過にする理由

見出しの背景色を透過にすることにより DAISY 出力したコンテンツを DAISY プレイヤー (ChattyBooks 等) で表示した際に、ユーザーが表示色(テキストや背景の色)を変更しても、半透明の見出しセルが背景とブレンドされて表示されますので、背景と同化してしまうようなことはありません。



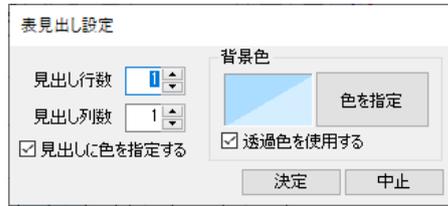
見出し行列の再設定

1. 高度に編集可能な表

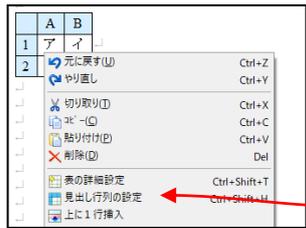


 このボタンをクリックします！

設定画面が表示されますので、任意に設定を変更してください。



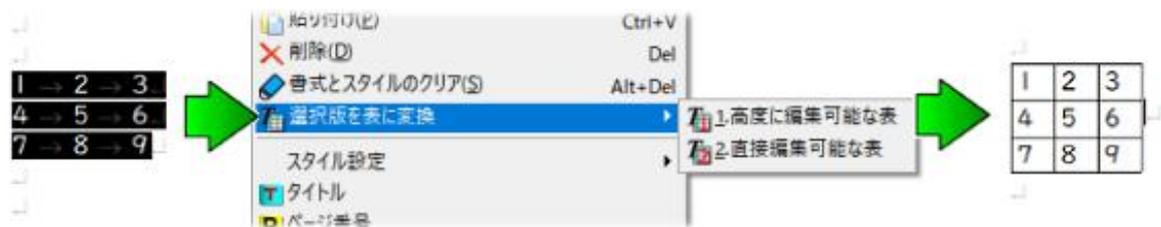
2. 直接編集可能な表



 見出し行列の設定をクリックします。

1-15-2. 選択範囲を表に変換

複数のタブを含む範囲を選択して右クリック(コンテキストメニュー)から「選択範囲を表に変換」から実行します。



操作方法

- ①. タブ(→)で区切られた項目を含む複数の行を範囲選択します。
- ②. マウスを右クリックしてコンテキストメニューから「選択範囲を表に変換」を選択してさらに
「1.高度に編集可能な表」か「2.直接編集可能な表」を選択します。

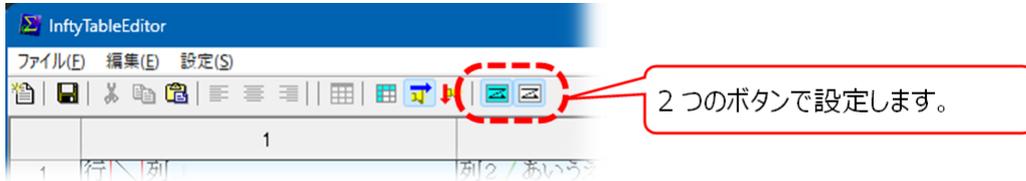
注意事項

- ・各行に含まれるタブの数は同じ数でなければなりません。
- ・表を含む範囲に対して、この操作を行うことはできません。

1-15-3. 表のリフロー（自動折り返し）機能

表の編集画面でセル内でのテキストの折り返しを指定することができます。

表の編集画面（直接編集可能な表は、表を右クリックして**表の詳細設定**を表示）



 表の見出しセル(HTMLの<TH>に相当)のテキストを折り返し許可にします。

 表の通常セル(HTMLの<TD>に相当)のテキストを折り返し許可にします。

●ChattyPad の画面サンプル



●ChattyBooks での表示のサンプル

折返しを可能にすると、画面の幅に収まるように表示します。
※画面が狭すぎる場合は、画面に収まらない場合があります。

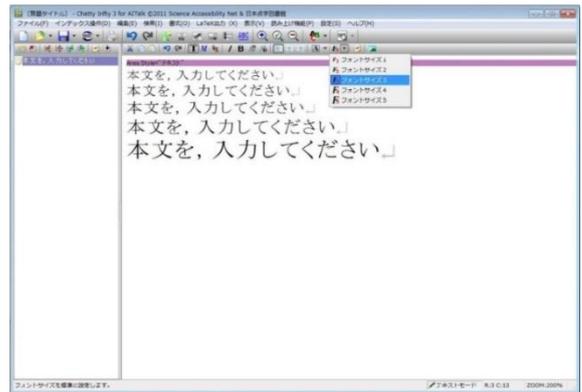
折返しを禁止(初期状態)の場合は、画面幅を超えて表示し、横スクロールして表示します。

1-16. 行ごとの表示フォントサイズ変更

【倍率】

- フォントサイズ 1 : 60%
- フォントサイズ 2 : 80%
- フォントサイズ 3 : 100%
- フォントサイズ 4 : 125%
- フォントサイズ 5 : 150%

※ この設定は、出力データにも反映されます。

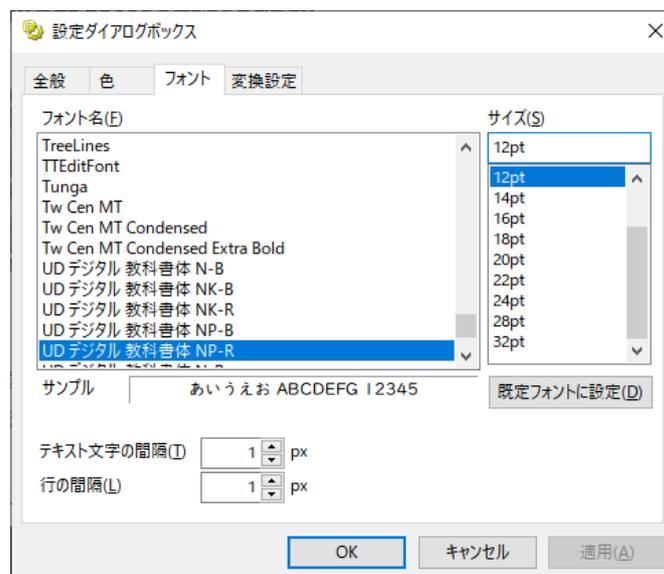


1-17. 表示フォントの種類・サイズ変更

[設定] → [オプション設定] → [フォント]

ChattyPad 上で表示されるフォントの種類とサイズを設定できます。

※ この設定は、ChattyBooks には反映されません。



1-18. 表示倍率の変更

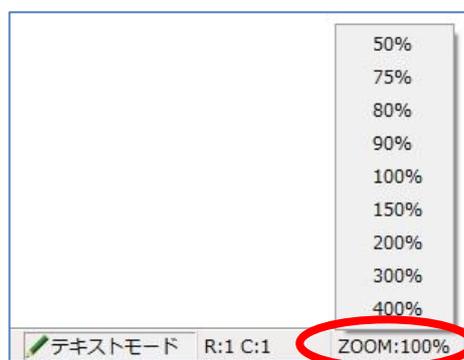
[表示] → [表示サイズ拡大] / Alt + PageUp

[表示] → [元のサイズで表示] / Alt + Home

[表示] → [表示サイズ縮小] / Alt + PageDown



編集画面右下の [ZOOM] をクリックすると、50%から 400%まで変更できます。



1-19. 配色の変更

編集画面上の表示色の組み合わせを変更できます。



オプション設定でさらに細かく変更できます。

[設定] → [オプション設定] → [色]



※ この設定は、出力データには反映されません。

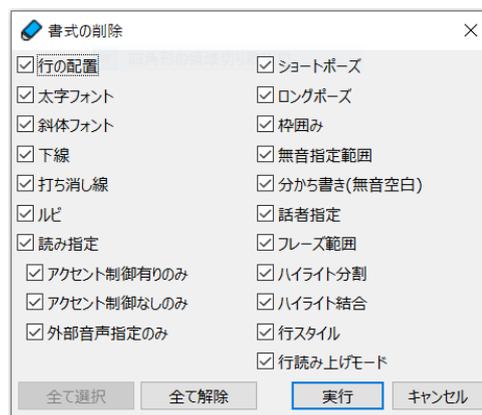
1-20. 書式の一括削除

選択範囲中の指定した書式を一括削除する機能を追加しました。

操作方法は、任意の場所を範囲指定して

Alt + **Del** で右のような画面が表示されますの

で、目的の書式にチェックを付けて **実行** ボタンをクリックしてください。



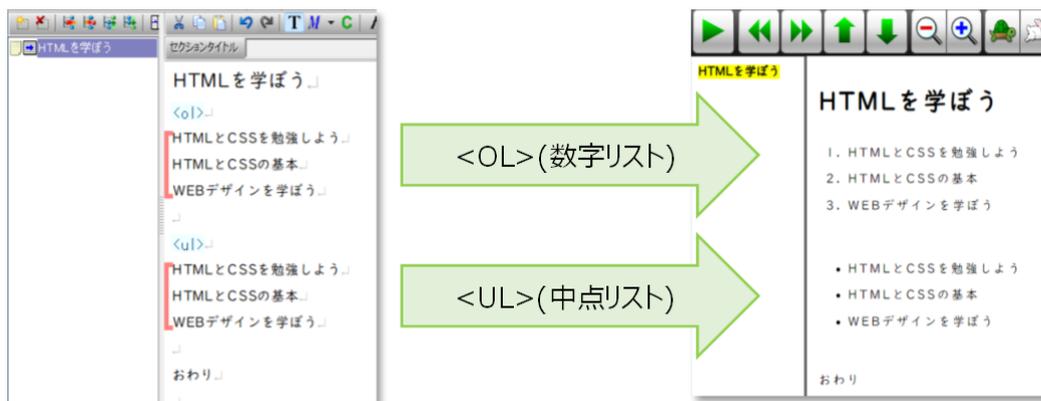
1-21. 箇条書き

■ 記述方法 ■

- (1) ツールバーの  ボタンか [書式] メニューから [HTMLタグ入力モード] をクリックします。
- (2) 編集画面のカーソル位置に半角小文字で「ol」もしくは「ul」と入力します。
※は数字形式で、 は、中点 (・) 形式のリストです。
- (3) カーソルを行末に移動してから「ENTER」キーを押して次の行に移動します。
- (4) 次の行からは、箇条書きにしたい文章を通常通り入力します。
- (5) 箇条書き(リスト形式)を終了する場合は、空(カラ)の行を1行開けてください。



■ 出力結果 ■



■ 注意事項 ■ (重要)

HTMLのリストは、その子要素である(リストアイテム)に対してブラウザが自動的に番号を付加しますので、HTMLのコンテンツ自体に数字が記述されてはいません。

このため、番号に対して読み上げる音声を割り当てたり、再生時にハイライトすることは出来ません。(HTMLの構造上、読み上げやハイライトは出来ません)

■ リストのスタイル指定に関して ■

HTMLタグによる箇条書き(リスト)では、CSSで定義されたスタイル指定を利用して数字や中点以外のマークを利用することが出来ます。

下記の指定方法はCSSで定義されたlist-styleの一例です。

HTMLタグの記述	出力するマーク
<ul style="list-style:circle;">	白丸
<ul style="list-style:square;">	四角
<ol style="list-style:decimal-leading-zero;">	頭に0をつけた算用
<ol style="list-style:lower-roman;">	ローマ数字の小文字
<ol style="list-style:upper-roman;">	ローマ数字の大文字
<ol style="list-style:lower-alpha;">	英文字の小文字
<ol style="list-style:upper-alpha;">	英文字の大文字
<ol style="list-style: cjk-ideographic;">	漢数字
<ol style="list-style: katakana-iroha;">	イロハニホヘト

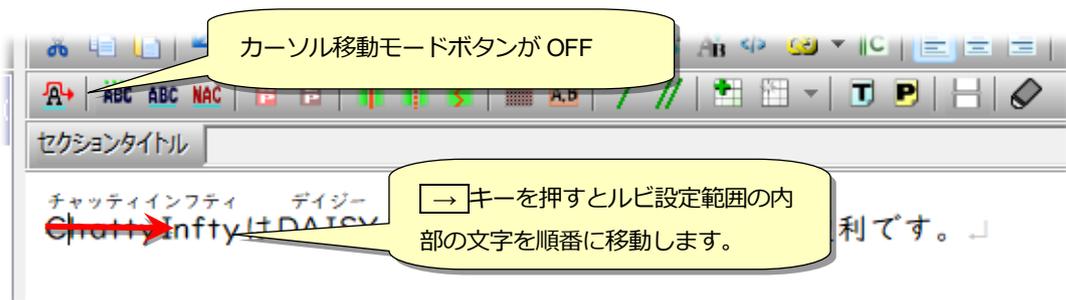
1-22. カーソル移動モード設定

ルビ・読み・話者などの設定範囲に対する右キーによるカーソル移動方法を2つのモードで切り替えることができます。

1つは設定範囲の内部にカーソルと移動せずにスキップして次の文字へカーソルを移動します。



もう一つは、右方向キーにより設定範囲の内部の文字を順番に移動して、次の文字へ移動します。



2. 画像の挿入と編集

2-1. 画像の挿入

画像を挿入したい位置にカーソルを移動 → 「画像の挿入」ボタン

→ ファイルを選択 → [開く]

または 「挿入」 → 「画像の挿入」 → ファイルを選択 → [開く]



※ クリップボードから編集画面上に直接貼り付けることもできます。(=他のファイルからコピー&ペーストができます。)

2-2. 画像の編集

画像上で右クリック → [画像の設定] で、画像の配置方法やサイズ調整、代替テキスト、読み上げテキストの入力ができます。



読み上げテキストでは、テキスト/数式/化学式のモードの切り替えができます。また、ポーズは本文と同様に、「SP」「LP」の挿入ができます。(5-5. ポーズの挿入参照)

画像上で右クリック → [ペイントツールで開く] で、一度挿入した画像を外部のペイントツールで編集することができます。

ペイントツールが設定されていない場合は、ファイル選択ダイアログが表示されますので、任意のペイントツールを選択して下さい。

(Windows ペイントの場合は、"C:¥Windows¥System32¥mspaint.exe" です。)

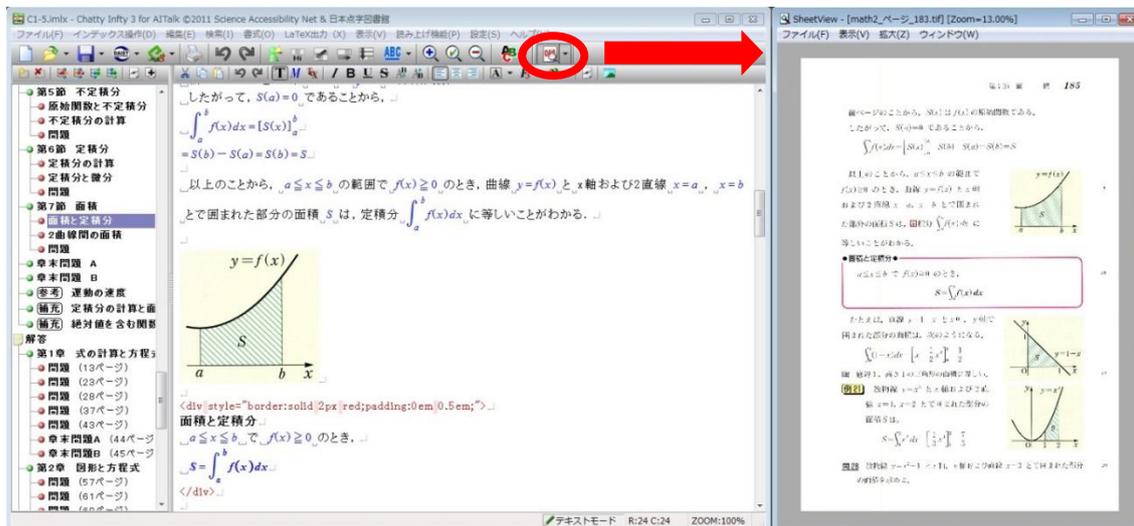
※ ペイントツールを変更するには、右クリック → Ctrl + [ペイントツールで開く]

2-3. OCR 画像の利用

InftyReader で OCR 処理をしたファイルを編集する場合、読み取った元画像を別ウィンドウで表示させることができます。

画像は文書の該当箇所と連動して切り替わります。

※ ただし、imlx ファイルと元画像が同じ階層のフォルダ内ないと、表示できません。



表示させた元画像から必要な部分を切り取って、貼り付けることができます。

① Ctrl を押しながら、切り取る範囲をドラッグして選択、コピー。

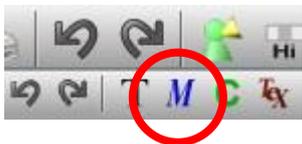


② 文書の必要な個所に貼り付けます。(Ctrl + V)

3. 数式の編集

3-1. 数式の入力

[書式] → [数式モード] / Ctrl + スペース で入力モードを切り替えます。

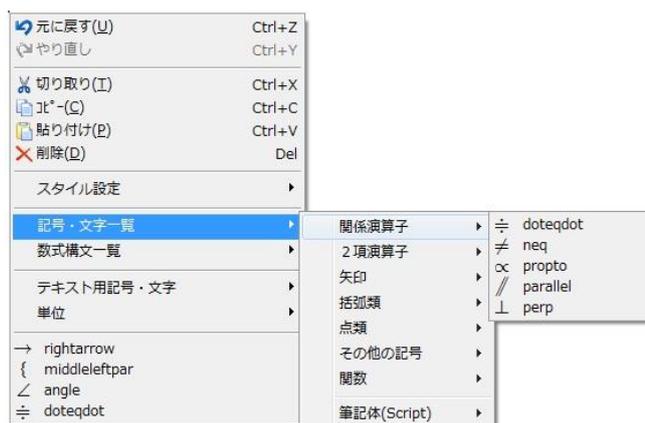


数式モードで入力された文字列は、青色で表示されます。

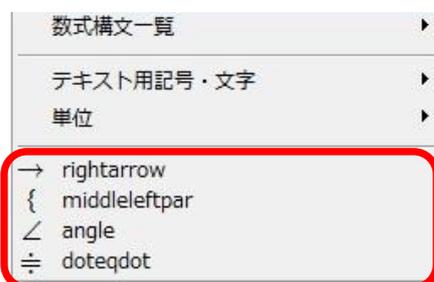
ある整式 A を $x^2 - 2x + 2$ で割ると、

- ※ テキストモードで入力した文字列を選択して数式モードに切り替え、選択した文字列を数式モードにすることもできます。

キーボード上の文字・記号のほか、右クリックで表示されるコンテキストメニューから様々な記号・文字・構文・単位を選んで入力できます。



一度選んで入力した記号・文字・構文・単位は、リスト下に直近 10 個まで表示されます。再度入力する際は、ここから選ぶと便利です。



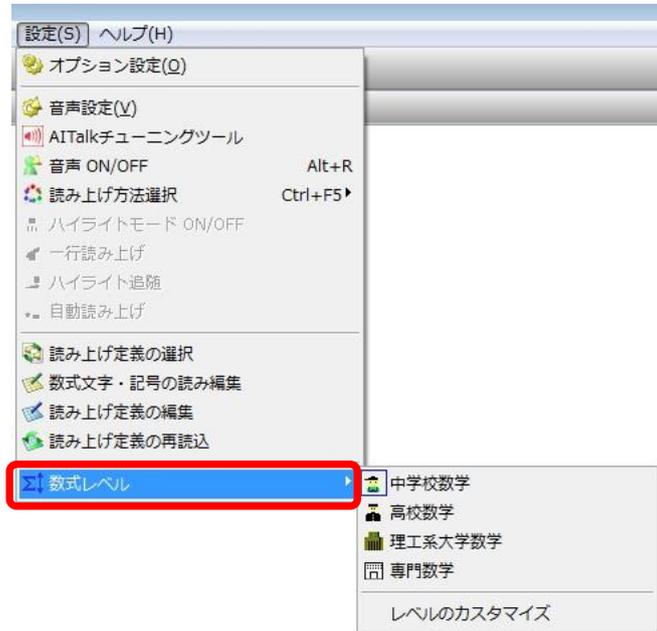
多用する分数・根号などは、上記の方法以外に、ファンクションキーでも入力できます。対応するキーは、入力を数式モードに切り替えると、編集画面下部に表示されます。



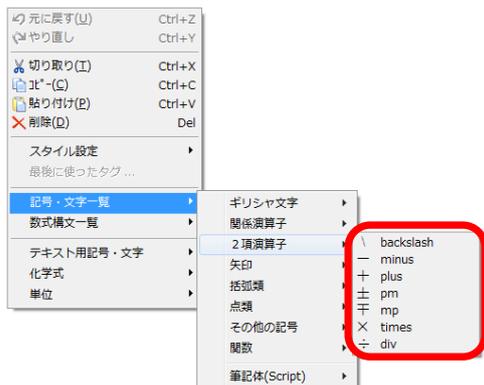
3-2. 数式レベルの設定

[設定] → [数式レベル]

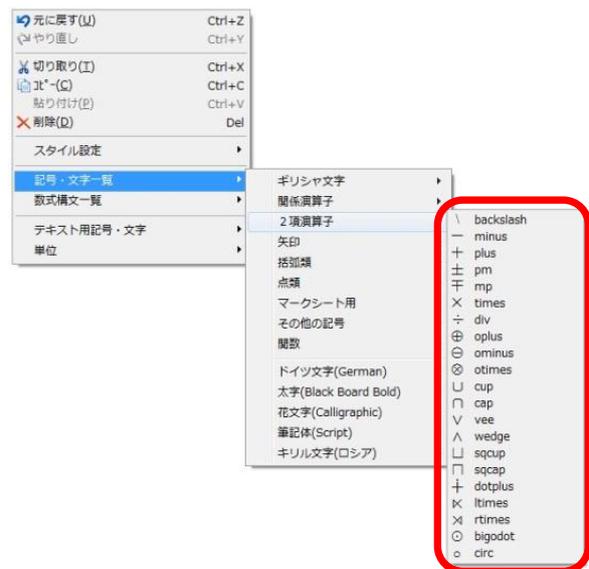
あらかじめレベルを設定しておくことによって、コンテキストメニューに表示される入力候補を、目的に合ったものにすることができます。



【中学校数学の2項演算子】



【専門数学の2項演算子】



3-3. 分数の入力

- ① 数式モード で **F5**

横線が引かれ、分子あるいは分母の位置にカーソルが移動します。

- ② **Enter** / **↑** / **↓**

分母あるいは分子の位置にカーソルが移動します。

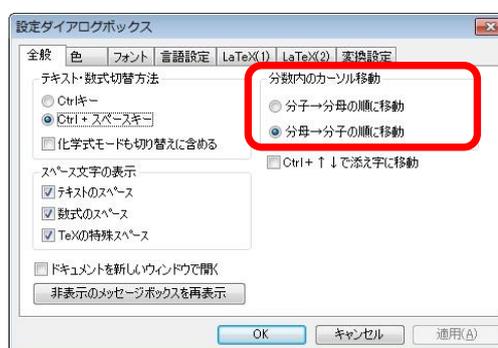
- ③ **Enter** / **→**

分数の外にカーソルが移動します。

※ 横線が引かれた後、最初にカーソルが分子・分母どちらに移動するかを、

[設定] → [オプション設定] → [全般]

で指定できます。



3-4. 指数・添え字の入力

- ① 指数・添え字を与えたい数字や記号の左/右で、**↑** / **↓**
指数・添え字を入力します。

- ② **Enter** / **→**

指数・添え字を与えた項の外にカーソルが移動します。

3-5. 根号の入力

- ① 数式モード で **F6**

根号が現れ、根号内にカーソルが移動します。数字・数式等を入力。

- ② **Enter** / **→**

根号の外にカーソルが移動します。

3-6. 筆算の入力 — 足し算・引き算

① $\boxed{\text{¥}}$ + $\boxed{\text{H}}$

筆算のリストが表示されます。

¥h	
[筆算]	-) [引き算:カッコ付き]
[筆算]	- [引き算]
[筆算]	×) [掛け算:カッコ付き]
[筆算]	× [掛け算]
[筆算]	÷ [割り算]
[筆算]	+) [足し算:カッコ付き]
[筆算]	+ [足し算]
^	¥Hat
ˆ	¥hat
¯	¥hbar

② リストから該当するスタイルを選択 → $\boxed{\text{Enter}}$

③ 演算子と横線が表示されます。

$\underline{+}$ ←

④ 数を入力 → $\boxed{\text{Enter}}$ → 入力で、計算する数を積み上げます。

$\underline{+ 12}$ ← \Rightarrow $\underline{+}$ ¹² ← \Rightarrow $\underline{+ 2}$ ←

⑤ $\boxed{\text{Shift}}$ + $\boxed{\text{Enter}}$ で、カーソルが横線の下に移動。

答えを入力します。

$\underline{+ 2}$ ¹² ← \Rightarrow $\underline{+ 2}$ ¹² ←
14

※ 答えを入力しない場合は、 $\boxed{\rightarrow}$ でカーソルを筆算の外に出します。

3-7. 筆算の入力 — 掛け算

① +

筆算のリストが表示されます。

¥h
[筆算] -) [引き算:カッコ付き]
[筆算] - [引き算]
[筆算] ×) [掛け算:カッコ付き]
[筆算] × [掛け算]
[筆算] ÷ [割り算]
[筆算] +) [足し算:カッコ付き]
[筆算] + [足し算]
^ ¥Hat
^ ¥hat
¯ ¥hbar

② リストから該当するスタイルを選択 →

③ 演算子と横線が表示されます。

×

④ 数を入力 → で、数を積み上げます。

× 12 → $\begin{array}{r} 12 \\ \times \\ \hline \end{array}$ → $\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline \end{array}$

⑤ + で、カーソルが横線の下に移動。計算過程を入力します。

計算過程の2行目以降は、数の後ろにスペースを挿入して上の行と合わせていきます

$\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline 48 \end{array}$ → $\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline 48 \\ 36 \end{array}$ → $\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline 48 \\ 36 \end{array}$

⑥ 計算過程を入力したら 、横線が引かれ、カーソルがその下に移動。

答えを入力します。入力後、 でカーソルを筆算の外に出します。

$\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline 48 \\ 36 \\ \hline 408 \end{array}$

3-8. 筆算の入力 — 割り算

① $\boxed{\text{¥}} + \boxed{\text{H}}$

筆算のリストが表示されます。

¥h	
[筆算]	-) [引き算:カッコ付き]
[筆算]	- [引き算]
[筆算]	×) [掛け算:カッコ付き]
[筆算]	× [掛け算]
[筆算]	÷ [割り算]
[筆算]	+) [足し算:カッコ付き]
[筆算]	+ [足し算]
^	¥Hat
^	¥hat
丸	¥hbar

② リストから該当するスタイルを選択 → $\boxed{\text{Enter}}$

③ 括弧と横線が表示されます。

$$12 \overline{) \quad}$$

④ $\boxed{\leftarrow}$ でカーソルを括弧に移動し、割る数を入力します。

$$12 \overline{) \quad}$$

⑤ $\boxed{\text{Enter}}$ / $\boxed{\rightarrow}$ で割られる数を入力します。

$$12 \overline{) 408}$$

⑥ $\boxed{\text{Enter}}$ で、カーソルが横線の上に移動。商を入力します。

位置はスペースを挿入して合わせます。

$$\begin{array}{r} 34 \\ 12 \overline{) 408} \end{array}$$

⑦ $\boxed{\text{Enter}}$ で、カーソルが割られる数の下に移動。計算過程から余りまでを入力します。

$$\begin{array}{r} 34 \\ 12 \overline{) 408} \\ \underline{36} \\ 48 \\ \underline{48} \\ 0 \end{array}$$

3-9. 連立方程式の入力

- ① $\boxed{\text{¥}}$ → リストから $\boxed{\text{¥\{}}$ を選択 → $\boxed{\text{Enter}}$



- ② 括弧が入力されます。右側の括弧は削除します。



- ③ 1行目の式を入力 → $\boxed{\text{Shift}}$ + $\boxed{\text{Enter}}$

括弧が伸びて、空行が作られます。

$$\{3x - 4y = 2 \leftarrow$$

- ④ 2行目を入力します。入力後、 $\boxed{\text{Enter}}$ でカーソルを方程式の外に出します。

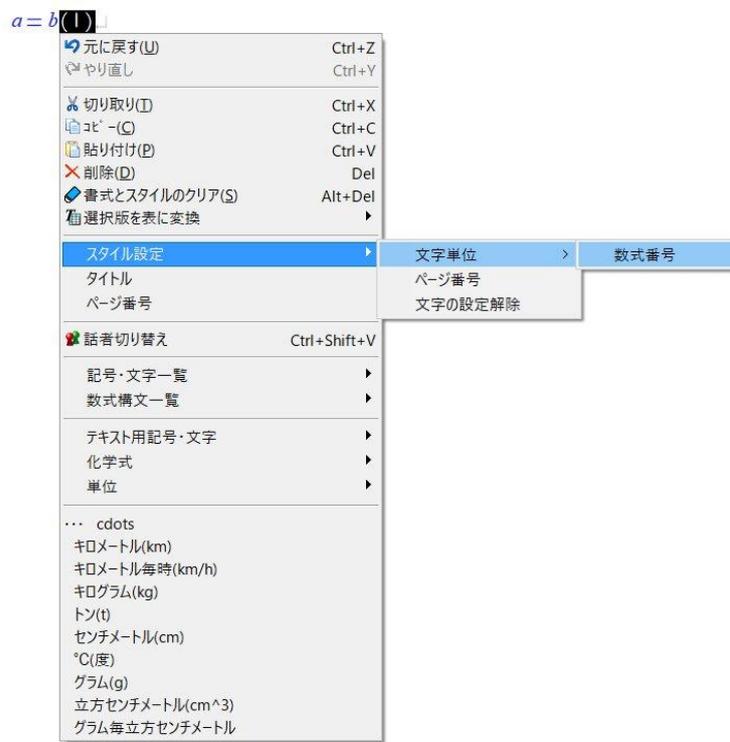
$$\begin{cases} 3x - 4y = 2 \\ 2x + 3y = -10 \end{cases} \leftarrow$$

※ 連立方程式に限らず、() や [] などの括弧類に複数行書く場合も、同様に行います。

3-10. 数式番号の入力

数式番号を範囲指定後、右クリックします。

「スタイル設定」→「文字単位」→「数式番号」を選択します。



数式は中央に、数式番号は右揃えになります。

$a = b$

数式番号 (1)

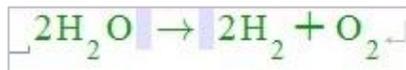
4. 化学式の編集

[書式] → [化学式モード]



- ※ 数式モードと同様に、**Ctrl** + **スペース** で入力モードを切り替えるには、[設定] → [オプション設定] → [全般] で、「テキスト・数式切替方法」の「化学式モードも切り替えに含める」にチェックを入れます。

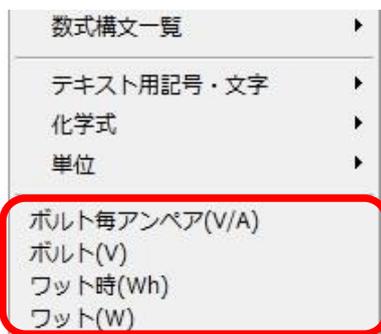
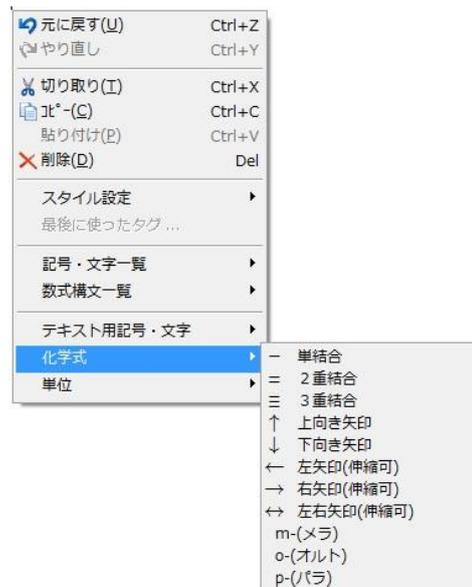
化学式モードで入力した文字列は、**緑色**で表示されます。



キーボード上の文字・記号のほか、右クリックで表示されるコンテキストメニューから様々な記号・文字・構文・単位を選んで入力できます。

- ※ 4重結合～6重結合の記号は、[設定] → [数式レベル] で「理工系大学数学」以上に設定すると表示されます。

一度選んで入力した記号・文字・構文・単位は、リスト下に直近 10 個まで表示されます。再度入力する際は、ここから選ぶと便利です。



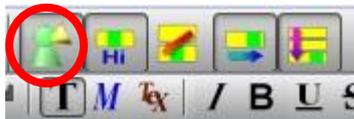
- ※ その他の化学式の入力方法は、数式の場合と同様です。

5. 音声の調整

5-1. 読み上げ

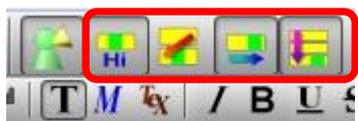
5-1-1. 読み上げの ON/OFF

Alt + A / Alt + R



ON にしたら → カーソルを読み上げさせたい位置に移動 → カーソルの位置から読み上げを始めます。

※ ハイライト表示の有無や読み上げの単位は、「音声 ON/OFF」ボタン右側のボタンで設定します。



5-1-2. Shift キーによる読み上げ開始と停止

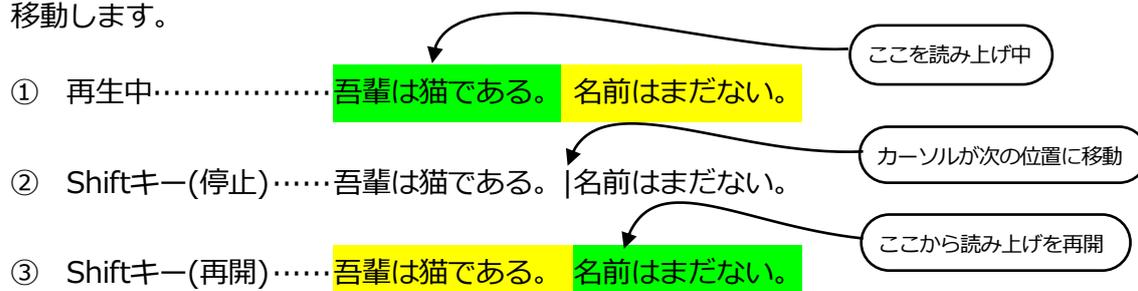
最新版ではキーボードの「Shift」キーを使って、音声の再生と停止を行うことができます。

「Shift」キーを1回タイプするとカーソル位置からの読み上げを開始して、もう1回タイプすると読み上げを停止します。

AITalk版とSAPI5版では動作が異なりますので、下記を参照してください。

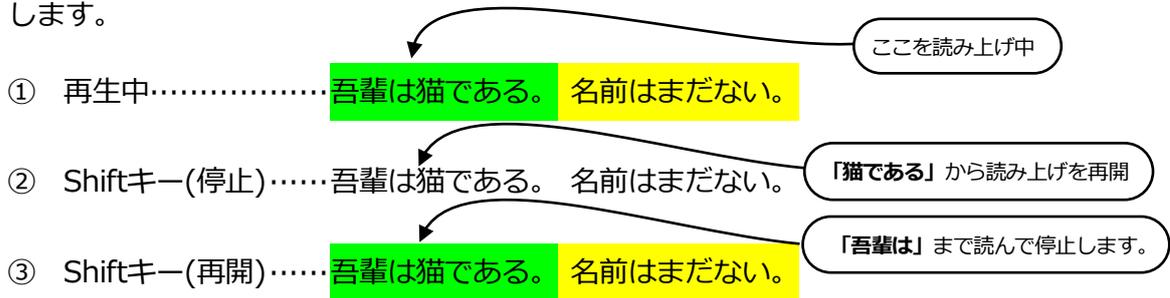
●AITalk版

AITalk版では、再生中に「Shift」キーを押すと再生を停止して次のブロックにカーソルが移動します。



●SAPI5版

SAPI5版では再生中に「Shift」キーを押すと一時停止(読み上げを途中で停止)として機能します。



5-2. 標準話者の選択

[設定] → [音声設定] → [一般]



標準話者として、「のぞみ」(女性) か 「けんた」(男性) を選ぶことができます。

初期設定では、「のぞみ」が標準話者です。

特に設定をしない限り、ファイルを通じて標準話者の声で読み上げます。

5-3. 話者の切り替え

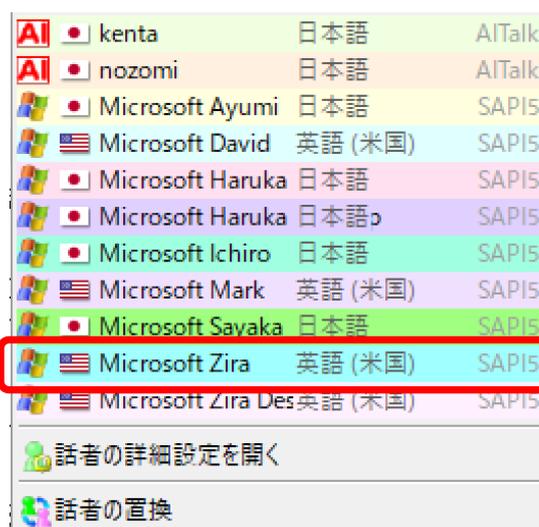
5-3-1. 英語音声での話者指定

任意の箇所を AITalk の話者（なぎさ、せいじ）に加えて、SAPI5 の話者に読ませることが可能です。SAPI5 の話者を利用することにより、英語文章を英語音声で読み上げることが可能になります。

- ① 語句・文章を選択 → 「音声切り替え」ボタン / Ctrl + Shift + V



- ② 話者を選択。



【話者の種類】

話者の名前	備考
のぞみ	従来からあるAITalkの音声です
けんた	〃
Microsoft David	SAPI5の男性・英語音声です。
Microsoft Haruka	SAPI5の女性・日本語音声です。
Microsoft Hazel	SAPI5の女性・英語音声です。(イギリス英語です)
Microsoft Helen	SAPI5の女性・英語音声です。
Microsoft Zira	SAPI5の女性・英語音声です。

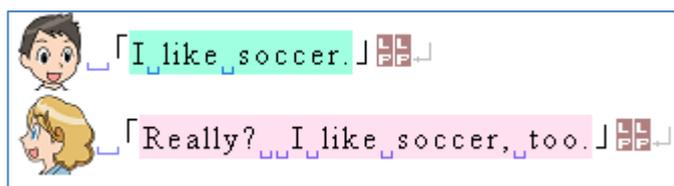
※ Microsoft Harukaは日本語ですが、AITalkのような読み指定は利用できません。

(指定しても無視されます)

※ 英語音声の範囲に日本語（全角文字）がある場合は無視されます。(無音になります)

※ 英語音声の範囲では数式を英語読みすることはできません。(英語範囲ないでの数式入力は避けてください)

- ③ 語句・文章の背景色が変わり、その部分の音声指定話者になります。



- ※ この設定は、出力音声にも反映されます。ただし、背景色は反映されません。
- ※ 解除する際は、音声設定をした語句・文章の上にカーソルを移動させ、「音声切り替え」ボタン / **Ctrl** + **Shift** + **V** → [音声を削除] を選択します。
- ※ **【重要】SAPI 話者を利用するためには、PCがインターネットに接続されている必要があります。また、【ネットワークセキュリティ警告】も必読してください。**

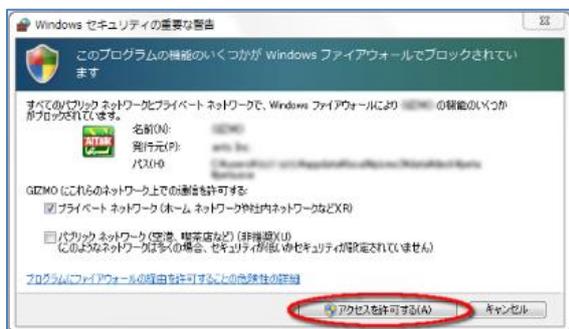
【ネットワークセキュリティ警告】

インターネット通信を利用するため、Windows のセキュリティソフトがファイアウォールに関する警告を表示する可能性があります。

〈ファイアウォール警告画面の例〉

Windowsの画面例

ノートンインターネットセキュリティの画面例



「アクセスを許可する」をクリックします。



「常に許可」をクリックして「OK」をクリック！

- ※ 警告画面は利用しているセキュリティソフトにより異なります。詳細は利用中のセキュリティソフトを参照してください。
- ※ 警告画面が表示されると、ChattyPad はインターネット通信に失敗場合がありますので、ChattyPad を一旦終了してから再度実行してください。

5-3-2. 画像設定での話者指定

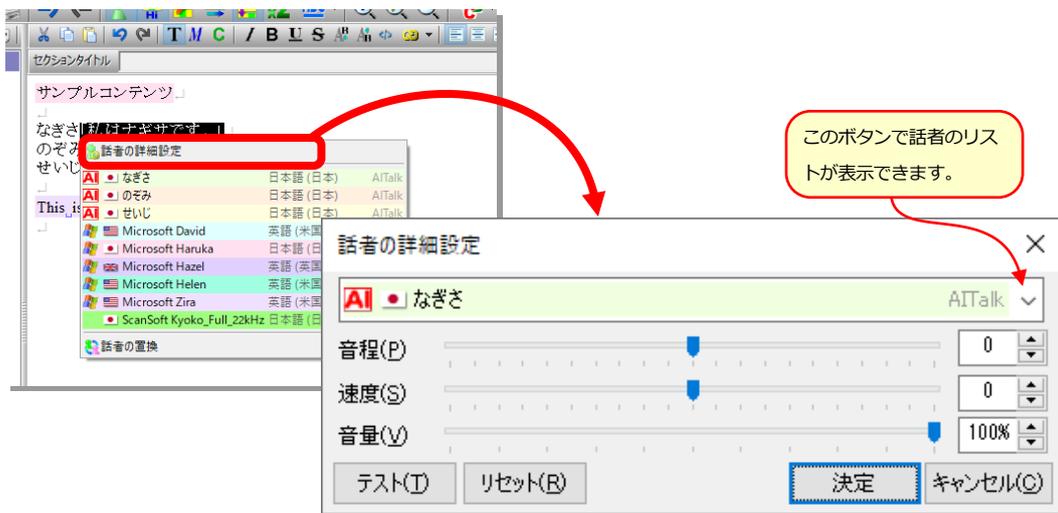
画像の設定・アニメーション編集・ハイライト領域編集の各設定画面（読み上げテキストの設定）でも話者指定及び話者の詳細設定が可能になりました。



※画像・アニメーション・ハイライト領域での話者指定は読み上げテキスト全体に適用されます。読み上げテキストの一部に対して話者指定することは出来ません。

5-4. 話者の詳細設定

編集画面の目的の部分範囲指定して、従来のように話者指定メニューを表示します。メニューの一番上にある「話者の詳細設定」を選択(クリック)します。



話者の詳細設定画面が表示されますので、話者・音程・速度・音量の各項目を設定します。

項目	詳細	設定範囲
音程	音程を設定します。数字が大きいほど高音になります。	-10～+10（0が標準）
速度	速度を設定します。数字が大きいほど早くなります。	-10～+10（0が標準）
音量	音量を設定します。0%で無音になります。	0%～100%

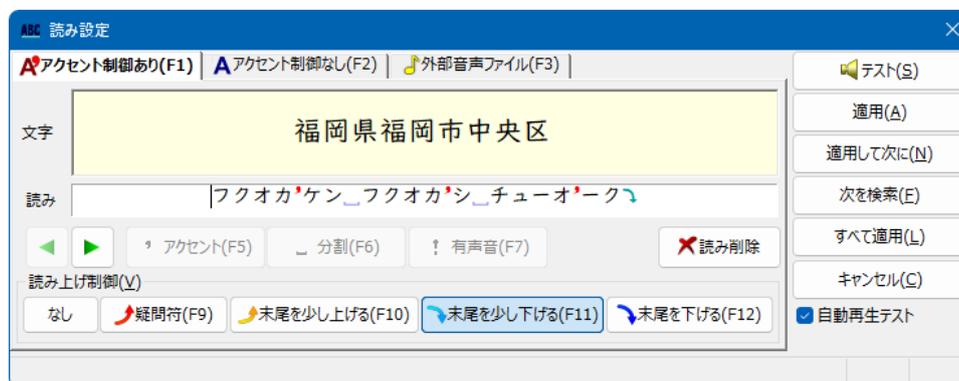
ChattyPadの音声設定で設定している標準音声の設定値に対しての相対値ではなく AI Talk 音声の絶対値です。

5-5. 読み設定

文書内の任意の語句に、特定の読みを設定することができます。

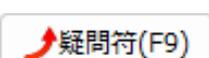
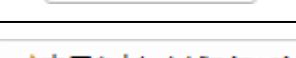
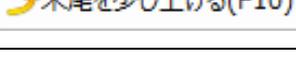
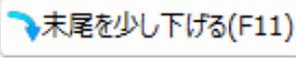
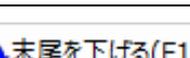
5-5-1. 読み設定の仕方（アクセント制御あり）

語句を選択 →  +  + 



「読み」の欄に読みのカタカナ※¹を入力し、画面下部のボタンを使ってアクセント制御や読み上げ制御を実行します。

各ボタンの説明は下記のとおりです。

	ボタン	説明
アクセント制御		カーソル位置を左右に移動します。
		カーソル位置にアクセントを挿入します。
		カーソル位置をアクセント分割します。
		カーソル位置に有声音を挿入にします。 ※ ²
読み上げ制御		末尾を上げます。(疑問符と同等) ※以前のバージョンでは「?」に相当します。
		末尾を少し上げます。 ※以前のバージョンでは「△」に相当します。
		末尾を少し下げます。 ※以前のバージョンでは「▽」に相当します。
		末尾を下げます。 ※以前のバージョンでは「□」に相当します。
		設定された読みテキストを削除します。
		アクセントや読み上げ制御を変更すると自動的に設定内容に沿った読み上げを実行します。 ※ ³

- ※1 入力可能な文字はカタカナのみです。平仮名は自動的にカタカナに変換されます。
- ※2 「す」や「つ」などの発音が無声音になって聞きづらいときに、有声音化したいヨミの文字の後ろに「!」マークを付けます。アクセント記号も指定する場合は「!」のように後ろに記述してください。
- ※3 「読み」のテキストを入力した場合は任意に読み上げを実行してください。

【読み設定の便利機能】

適用して次にを実行すると、まず選択した語句に設定が適用され、次に文書内の同じ語句が検索されます。

次の語句だけに同じ設定を適用したい場合は、**適用**を実行します。

次の語句にも同じ設定を適用し、引き続き同じ語句の検索を続けるには、**適用して次に**を実行します。

次の語句には適用せず、同じ語句の検索を続けるには、**次を検索**を実行します。

文書内の語句すべてに設定を適用するには、**すべて適用**を実行します。

【読み設定時の注意事項】

- ※ 入力する読みは、日本語として「正しい仮名表記」ではなく、「**発音に近い表記**」にすると、より自然な読みにできます。

<例：漁師町>

- 「リョーシ'マチ」
- × 「リョウシ'マチ」

- ※ 設定範囲には、**単語だけでなく助詞等も含めると**、より自然な読みにできます。

<設定範囲の例>

- 「祖父には、二男一女がありました。」
- × 「祖父には、二男一女がありました。」

- ※ 読み設定をすると、**そのすぐ後の語句の読みまで変化してしまう**ことがあります。

特に、**漢字が音読みになる**傾向がありますので、ご注意ください。

読み設定をした後は、必ずその前後を聴き直してください。

- ※ 読み設定をすると、**その前後の語句との間にあったポーズがなくなる**ことがあります。

これにより、文章全体が聴きにくくなる恐れがありますので、ご注意ください。

読み設定をした後は、必ずその前後を聞き直してください。

聴きにくくなっていた場合は、該当箇所ポーズを挿入（23 ページ参照）し、調整してください。

5-5-2. 漢字を使つての読み設定（アクセント制御なし）

語句を選択 → Shift + Alt + ↓



指定したテキストに対して別の読み上げを設定する場合などに利用します。

上記の例では、「U.S.A」に対して「ユーエスエー アメリカ合衆国」と読み上げるように設定しています。

アクセント制御と異なり、カタカナではなく全ての文字を設定することが可能です。

5-6. ポーズの挿入

5-6-1. 文章中への挿入

任意の場所に、「**短ポーズ**」と「**長ポーズ**」の2種類を挿入することができます。

短ポーズは息継ぎなどの間に、長ポーズは語句間を1拍以上はつきり空けたい場合などに用います。

※ 表示上、間隔が空きますが、出力ファイルにこの見た目のスペースは反映されません。

① 短ポーズ : 赤色の **S_P** で表示

方法1 : **Ctrl** + **Shift** + **S** (入力モードは何でもよい)

方法2 : テキスト入力モード かつ 半角入力モードで、**Shift** + **スペース**

【挿入例】

S_P 実数には、有理数と**S_P**無理数がある。しかし、どんな実数をとっても、その平方は**S_P**負にならないから、

② 長ポーズ : 茶色の **L_P** で表示

方法1 : **Ctrl** + **Shift** + **L** (入力モードは何でもよい)

方法2 : 数式入力モード かつ 半角入力モードで、**Shift** + **スペース**

【挿入例】

3-1. **L_P** 次の計算をせよ。↓
(1) **L_P** $(4 + \sqrt{5}i) - (3 - 2\sqrt{5}i)$ ↓

5-6-2. 画像への挿入

読み上げの際に、画像の箇所である程度の長さの無音状態を作りたい場合の操作です。

① 画像を選択 → 右クリック → [画像の設定]

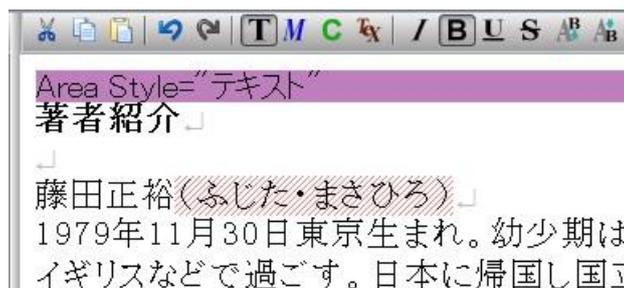
② 画像設定ダイアログの代替テキスト欄に、本文中と同様に「**短ポーズ**」または「**長ポーズ**」を任意に入力できます。



5-7. 無音化

5-7-1. 任意の文字列の無音化

無音化したい範囲を選択 → **Ctrl** + **0 (ゼロ)** → 選択した範囲に赤い斜線のハッチがかかり、その部分を読み上げなくなります。



※ 無音化を解除するには、設定部分にカーソルを移動 → **Ctrl** + **0 (ゼロ)**

5-7-2. 一文字の無音化

その文字の前にカーソルを移動 → **Ctrl** + ダブルクリック (前項の方法でも可)



5-8. 読み上げ定義の選択

「読み上げ定義」とは、数式や数学記号の読み方を定義したファイルのことです。

初期設定では「小学校用」と「標準定義」（中学校以上用）が含まれており、「標準定義」が選択されています。

- ① [設定] → [読み上げ定義の選択]



- ② 読み上げ定義を選択 → [決定]

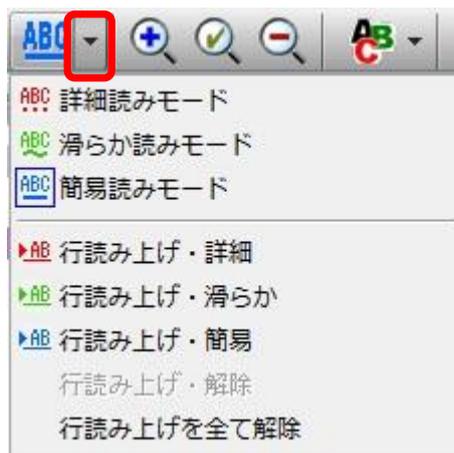


5-9. 数式読み上げモードの選択

数式は、障害の種類と程度により、読み上げ方に必要な配慮が異なります。

ChattyPad では、配慮の程度が異なる 3 つの読み上げモードを用意しています。

算数・数学コンテンツを製作する場合は、利用者にとってふさわしいモードを選択してください。



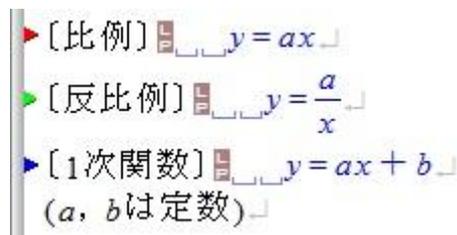
[詳細読みモード] : 数式の構造情報を詳細に補った読み方（おもに全盲者向け）

[滑らか読みモード] : 音声だけでも数式の構造まである程度把握できる読み方

[簡易読みモード] : 健常者が眼で読む場合とほぼ同じ一般的な読み方

「行読み上げ」とは、任意の行の読み上げ方を3つのモードから指定できる機能です。

カーソルを移動させて指定すると、その行の頭にモードの印がつきます。



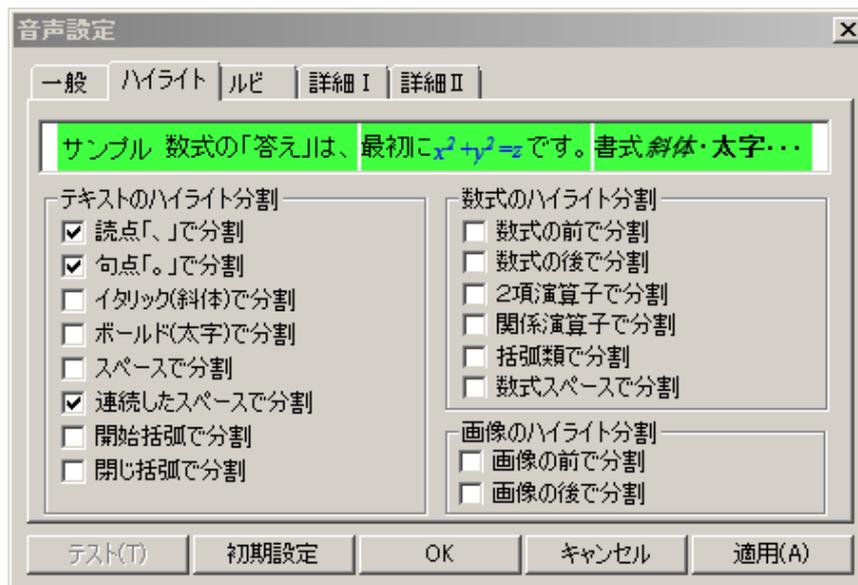
解除するには、指定した行にカーソルを移動させて「行読み上げ・解除」を選択します。

全ての指定を解除するには、「行読み上げを全て解除」を選択します。

5-10. ハイライト単位の設定

[設定] → [音声設定] → [ハイライト]

ハイライトの区切り目を設定できます。



※ どこで分割するかにより、文中音声の息継ぎの具合も若干変化します。

※ この設定は、出力ファイルにも反映されます。

5-11. 任意の箇所ではイタリックを区切る

Ctrl + **Shift** + **/ (スラッシュ)** で、任意の個所でハイライト範囲を区切ることができます。



区切り箇所は、編集画面上では赤い縦線（|）で表示されます。

※ 区切りを解除するには、赤い縦線を削除します。

5-11-1. 間合いの開かないハイライト区切り

Ctrl + **Shift** + **/** を2回押すか、**Ctrl** + **ALT** + **Shift** + **/** で入力できます。編集画面
上の表示は赤い縦の点線「⋮」で表示されます。

従来： 「日本|地図」 → 「にほん▲」「ちず」（▲の部分にポーズが入ります）

新方式： 「日本⋮地図」 → 「にほん」「ちず」（間合いを開けずに読み上げます）

※ ただし、連続して読み上げる(ハイライト区切りがない場合)と比較してイントネーションが変化する場合があります。また、音声合成エンジン(AITalk/SAPI5)のが生成する音声の都合上、完全に間合いを開けずに読み上げるわけではありません。

5-12. ハイライトの結合（フレーズ結合機能）

任意の範囲をハイライト分割せずに読み上げることができます。通常は、句読点などでハイライト分割する設定に従って自動的にハイライト分割されますが、特定の範囲をハイライト分割したくない場合に「フレーズ結合」を利用します。

■フレーズ結合操作例

- ① フレーズ結合する範囲を選択します。



あいうえお。かきくけこ。さしすせそ。たちつてと。

- ② 「書式」メニューから **A,B フレーズ結合** を選択するか、**Ctrl** + **+** を入力します。



あいうえお。かきくけこ。さしすせそ。たちつてと。

■フレーズ解除操作

設定済みのフレーズ結合範囲を解除するには、範囲の先頭にカーソルを移動（範囲内のテキストの下部が点滅する状態）か、範囲内のテキストをすべて選択した状態で、上記結合操作の②と同じ操作をしてください。

■フレーズ再分割操作

- ① 範囲内の任意の位置を選択します。



あいうえお。かきくけこ。さしすせそ。たちつてと。

- ② 「書式」メニューから **A,B フレーズ結合** を選択するか、**Ctrl** + **+** を入力します。



あいうえお。かきくけこ。さしすせそ。たちつてと。

【制限事項】

※ 表・筆算・複数行の数式（eqnarray形式）を含む範囲はフレーズ結合することができ

ません。

- ※ 話者指定された範囲を含む範囲はフレーズ結合することができません。(話者指定箇所
の前後は、音声出力が切り替わるため、必ずハイライト分割されます。)

5-13. 化学式の添字の読み方の変更

例えば C_3H_8 は、そのままでは「シー スリー エッチ ハチ」と読み上げます。

「3」を「スリー」ではなく、「サン」と読ませたい場合は、「3」にカーソルを移動して 右
クリックメニュー (コンテキストメニュー) から「添字属性の変更」をクリックして下さ
い。



「3」の色が変わり、「サン」と読むようになります。

6. コンテンツの構造化

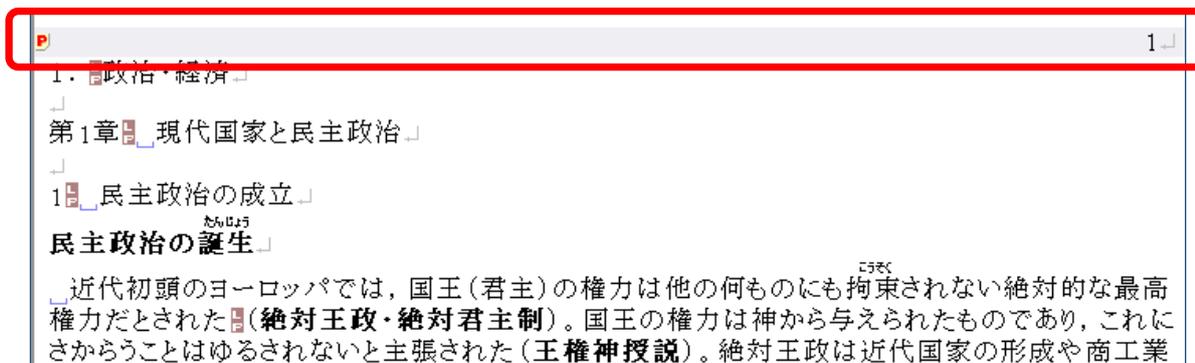
構造化とは、ページ情報を付加したり、章や節といったセクションごとに区切って見出しをつけたりなどして、文書を一定の「意味のまとまり」ごとに構成された形にすることです。

インポートしたテキストファイルなどは、例えば長大な巻物のようなものですので、読者が利用しやすいよう必ず構造化しましょう。

6-1. ページ番号の設定

教科書など、原本のページ情報が必要なコンテンツを製作する場合に設定します。

- ① 数字を入力・選択 → 右クリック → [ページ番号]
- ② 数字がページ番号として設定されます。



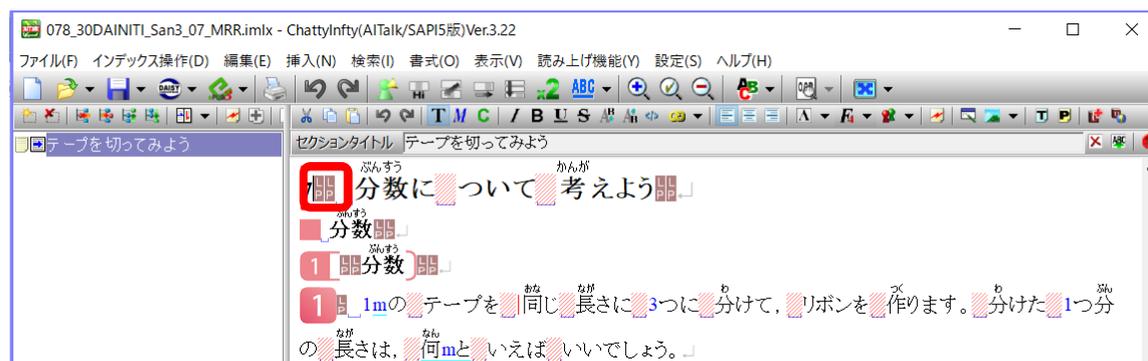
※ この構造化作業により、出力ファイルがページ単位で移動できるようになります。

6-2. セクションの分割と階層化

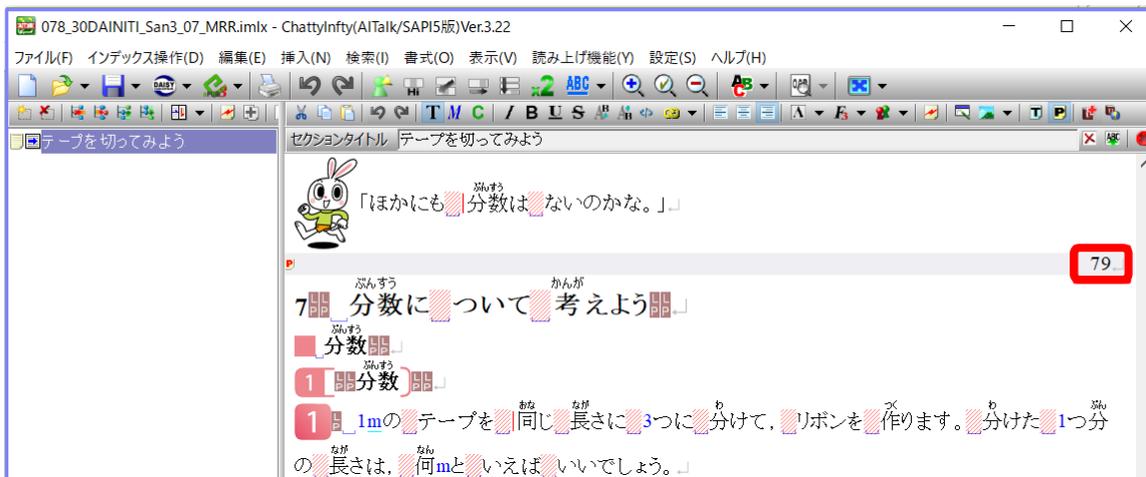
見出しの左側にある (縦書き)と (横書き)のマークは、そのセクションを DAISY 出力したときに、横書きにするか、縦書きにするかを表しています。

(縦書き・横書きの指定の仕方については、6-4 参照。)

- ① 見出しにしたい行にカーソルを移動させます。

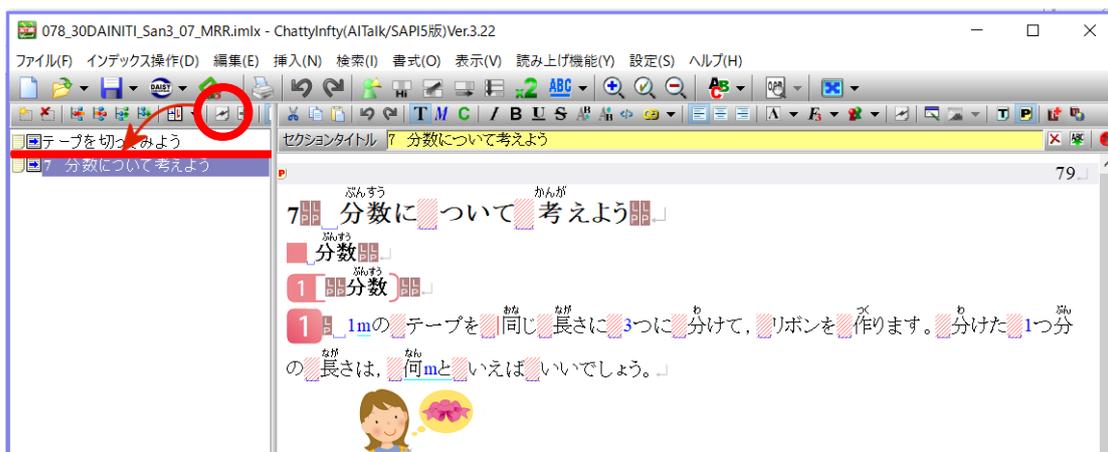


- ※ 見出しがページの先頭（ページ番号行の直下）にある場合は、ページ番号の先頭 にカーソルを移動させます。（あらかじめページ番号の設定がされている必要があります。）



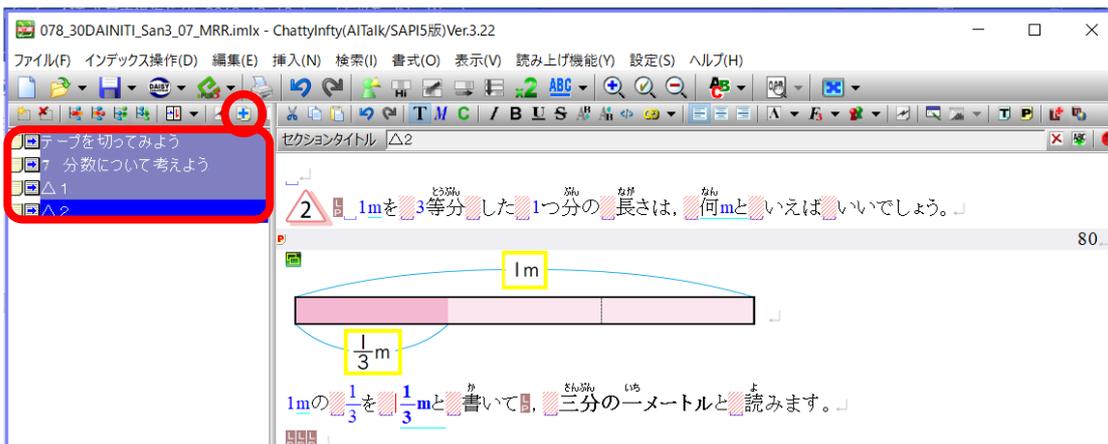
- ② **セクションを分割**  をクリックすると、カーソルを置いた行が見出しとなり、それ以降の文章が、新たなセクションになります。

※ ページ番号は、見出しにはなりません。

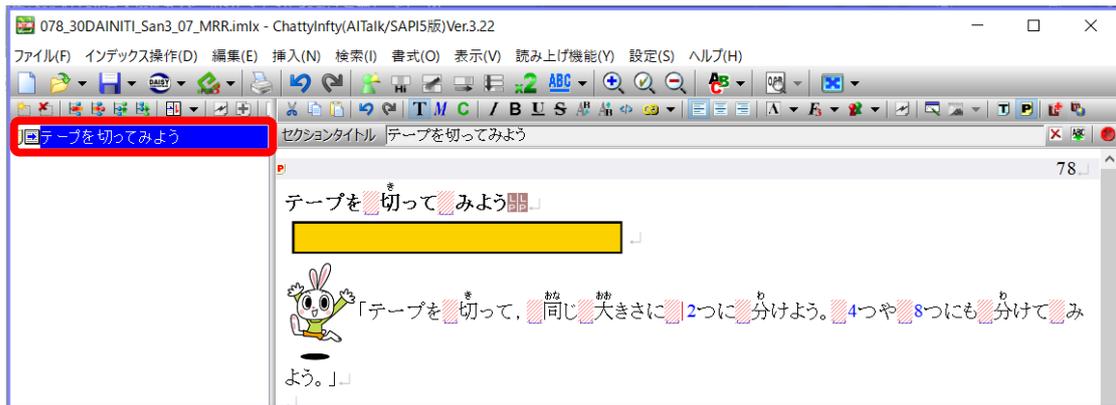


- ※ セクションを結合する場合は、該当する見出しを選択して、

セクションを連結  をクリックします。



一番上のセクションに結合されます。



- ③ 見出しを選択して、レベルを下げる  / レベルを上げる  をクリックします。セクション間の関係性を階層化します。

※ 以上の作業により、出力ファイルが見出しやそのレベルごとに移動できるようになります。



6-3. セクションの分割/結合

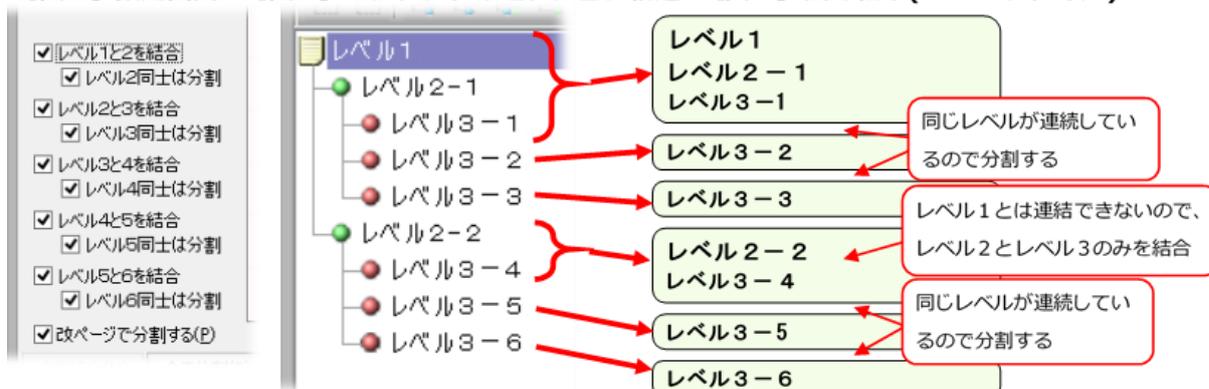
DAISY出力画面で、**セクションの結合/分割設定** ボタンをクリックすることにより様々な方法を設定します。



分割方法

設定画面の「レベル2同士は分割」～「レベル6同士は分割」のチェックをONにすると、結合設定されたセクションでも、同じレベルのセクションが連続している場合は分割されます。つまり、下図1のように全てのチェックをONにした状態で下図2を出力すると下図3のような出力結果になります。

【図1】 設定画面 【図2】 コンテンツのセクション構造 【図3】 出力結果(HTML ファイル)

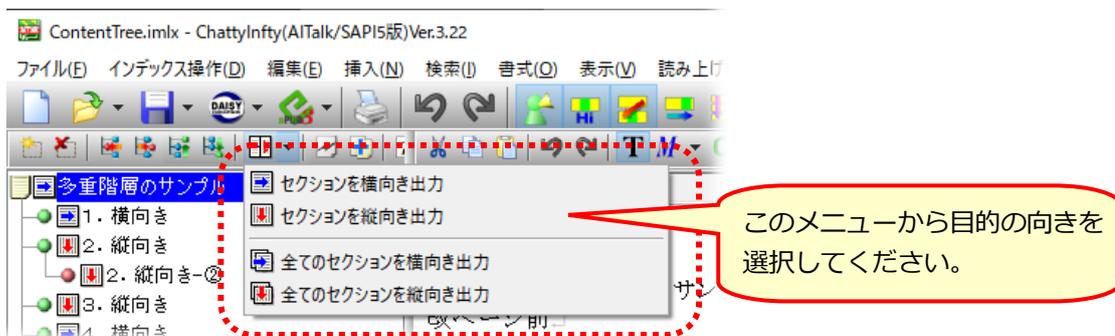


6-4. 縦書き横書き (AITalk 版・SAPI5 版日本語モード)

目次画面でセクションごとに、縦書き・横書きを選択することが出来ます。

縦書き横書きの設定方法

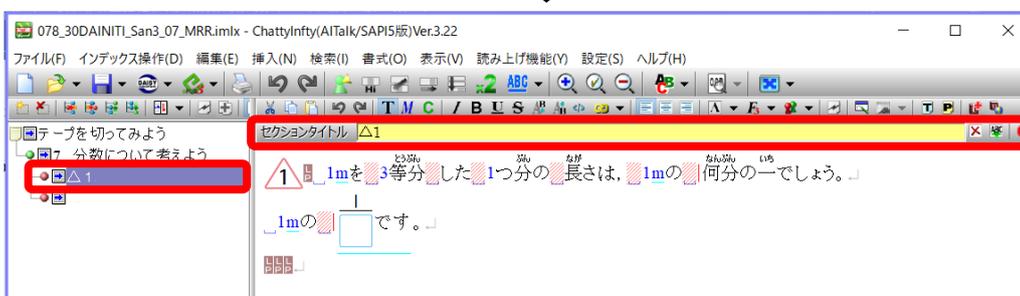
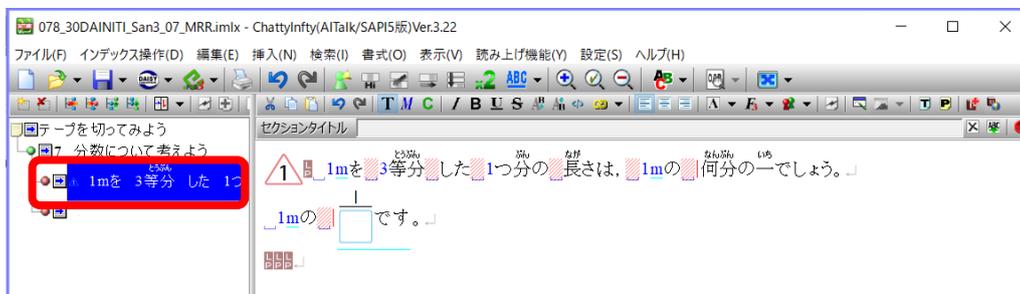
セクションの縦書き・横書きを切り替えるには「インデックス操作(D)」メニューか目次画面のツールバーの  ボタンをクリックします。



セクションの向きを設定すると、 (横書き)と (縦書き)のアイコンが表示されます。

6-5. セクションタイトル

見出し（セクションタイトル）は自動でセクション分割の先頭の行になります。セクションタイトルを変更したいときは上部のセクションタイトルの欄に書き込むことにより、任意の見出しに変更できます。



6-6. タイトル行設定

コンテンツの任意の行をセクションタイトルとして指定できます。



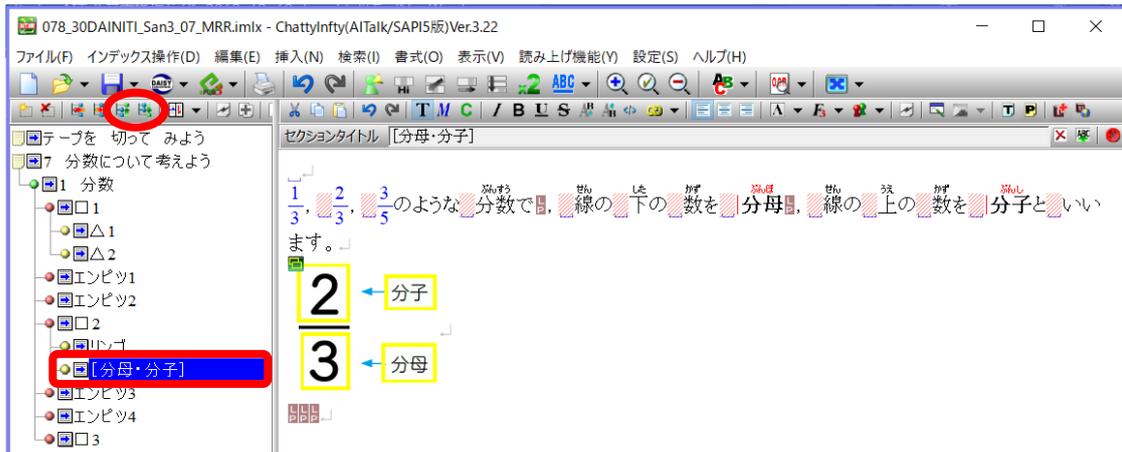
設定方法

以下の3つの方法で設定することができます。

- 書式メニューから **T** タイトルスタイル を選択します。
- 編集画面のなかの任意の位置でコンテキストメニュー（マウスの右クリックかキーボードのメニューキー）から **T** タイトル を選択します。
- ショートカットキー **Alt + Ctrl + Shift + I** (アイ)

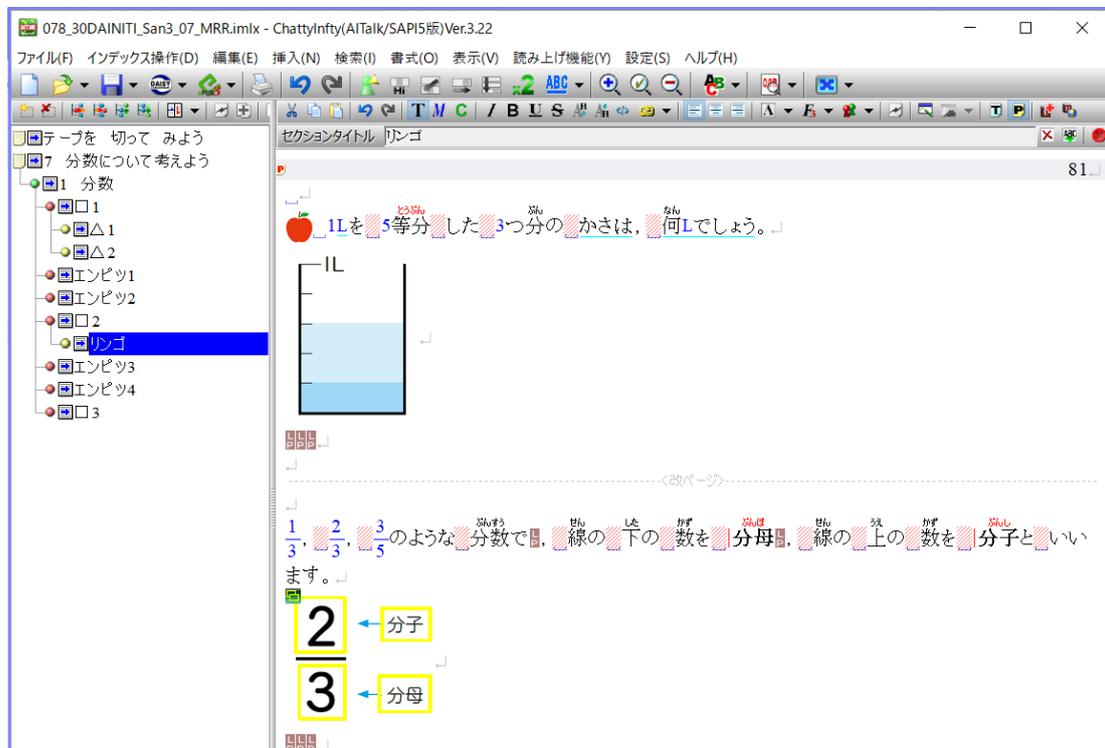
6-7. セクションの移動

見出しを選択して、**前に移動** / **後ろに移動** をクリックすると、セクションの順序を変更することができます。



6-8. ページ区切り

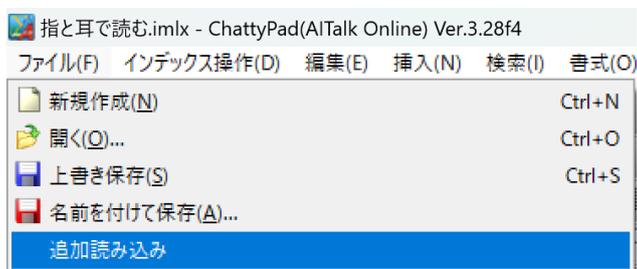
カーソルを区切りたい行に合わせ、**Ctrl** + **Enter** で見出しにはしないページ区切りをつけることができます。アニメーションや画像画面を安定させたいときや、長いページを区切りたいときに使います。



6-9. ファイルの読み込み

作業中のファイルの末尾あるいは途中で、ChattyPad で編集した複数の imlx ファイルを読み込み、結合することができます。1 つのタイトルを分担製作する場合などに便利です。

- ① 作業中のファイルを開き、 [ファイル] → [追加読み込み]



- ② 追加したいファイルを選択し（複数選択可）、**開く** をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

上に移動 / **下に移動** でファイルの並び順を調整し、**実行** すると、作業中のファイルの末尾に追加されます。

- ※ 作業中のファイルの特定の見出しの続きに追加したい場合は、該当する見出しをあらかじめ選択しておいた状態で①②を行い、ダイアログ左下の「現在選択中のインデックスの下に追加する」にチェックを入れて、実行します。



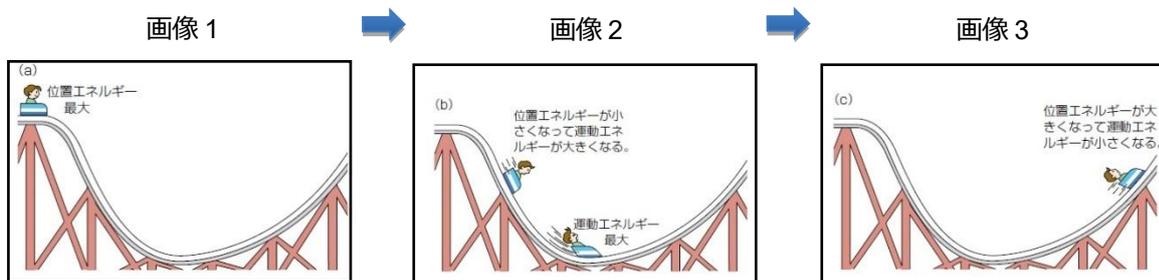
7. アニメーションの作成

複数の画像をアニメーションのように表示させることができます。

ChattyPad の編集画面上で、複数の画像各々に設定されたテキストの音声と同期して、画像を切り替えてアニメーションのように表示させることができます。

DAISY 出力画面でも、ChattyPad の編集画面上と同じように、音声と同期した画像を切り替えてアニメーションのように表示させることができます。

【画像の切り替えによるアニメーション表示のイメージ】

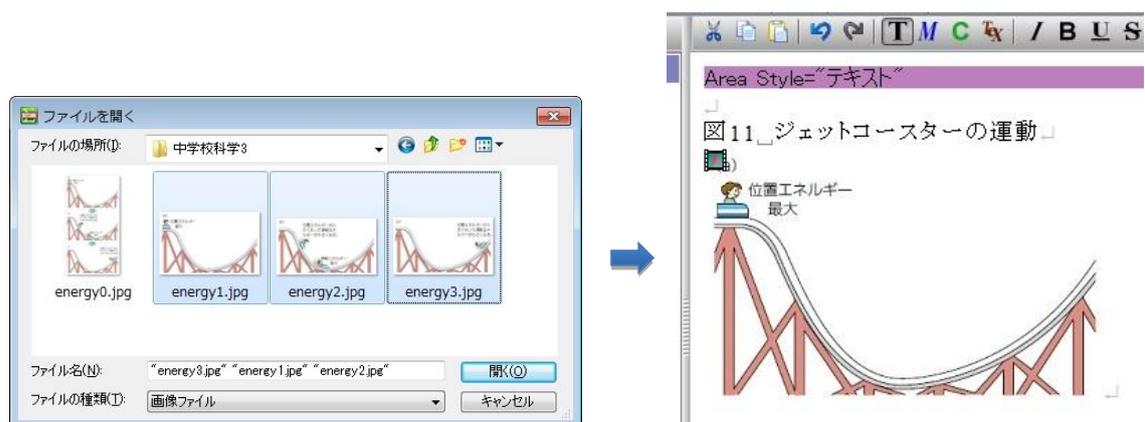


画像の出典：『中学校 科学 3』（学校図書株式会社，平成 25 年）p.51

- ※ 再生ソフトによっては、長いページの中にアニメーション画面があると再生時に揺れて見にくいことがあります。そのような現象を避けるため、アニメーションを含むページが 1 画面に収まるよう見出しをつけて切り分けることが重要です。

7-1. 作成方法 1 複数画像を選択して

- ① アニメーションを挿入したい位置にカーソルを移動 → 「画像を挿入するボタン」 
→ 選択ダイアログから複数の画像を選択 → [開く]

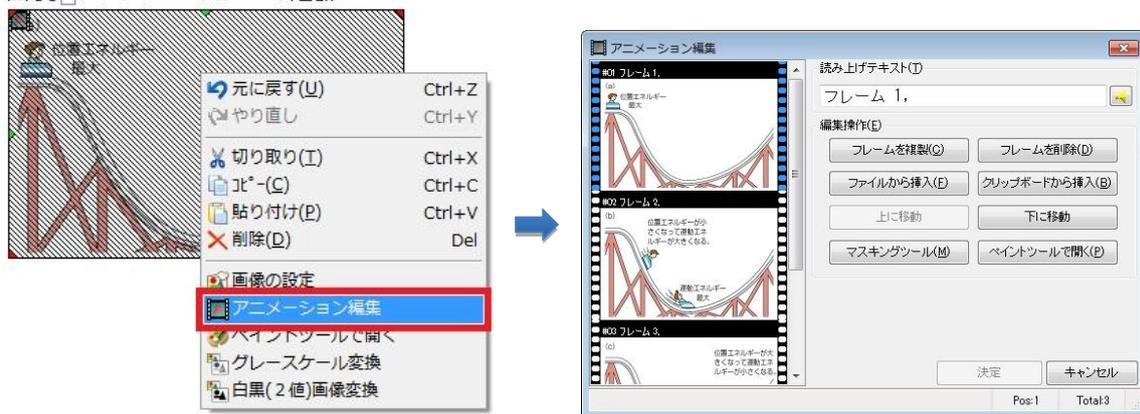


編集画面にアニメーション領域が作成され、左上隅に  のアイコンが表示されます。

- ※ 選択した画像は、ファイル名の順にソートされます。

② アニメーション領域を選択 → 右クリック → [アニメーション編集]

図11_「ジェットコースターの運動」

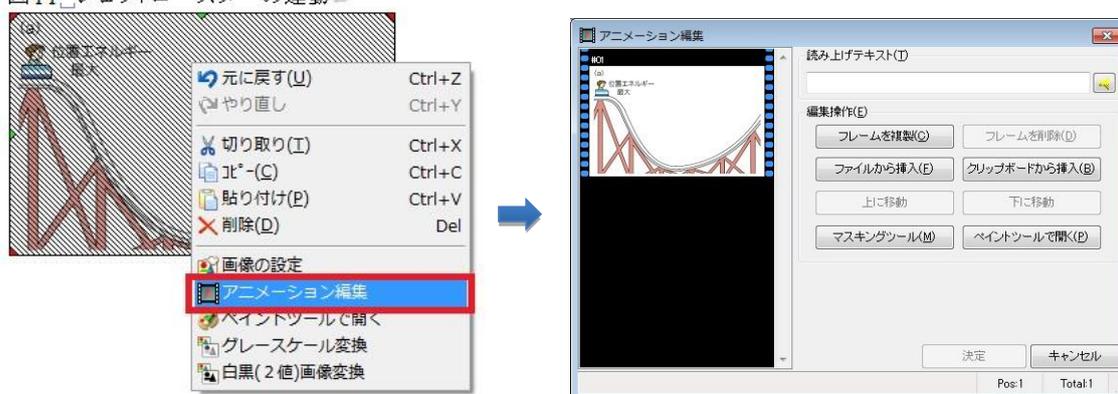


アニメーション編集ダイアログで、読み上げ音声やフレーム (コマ) の編集等ができます。
詳しくは、「7-3. アニメーションの編集」参照。

7-2. 作成方法 2 編集画面上の既存画像から

編集画面上の画像を選択 → 右クリック → [アニメーション編集]

図11_「ジェットコースターの運動」



アニメーション編集ダイアログで、読み上げ音声やフレーム (コマ) の追加等ができます。
詳しくは、「7-3. アニメーションの編集」参照。

7-3. アニメーションの編集

「アニメーション編集」ダイアログで行います。

編集画面上で画像やアニメーション領域を選択 → 右クリック → [アニメーション編集]



7-3-1. 読み上げ音声・ポーズの付加

「読み上げテキスト」欄に、各フレームに対応したテキストを入力します。フレームとは、アニメーションのひとコマとなる画像のことです。

「読み上げテキスト」欄の右にある  ボタンで、入力したテキストの読み上げテストを実行できます。

- ※ 各フレームの「読み上げテキスト」欄には、何らかの入力がされている必要があります。
(空欄にしておくと、決定時にエラーが出ます)
- ※ アクセントを調整する際は、調整したい範囲を半角の < > で囲い、カナで入力します。
アクセントの山にしたい語には、後ろに全角アポストロフィあるいは半角シングルコーテーションを付します。

【例】運動<エネルギー>最大

- ※ 音声ではなくポーズを付加したい場合は、画像にポーズを入れる際と同様に、「短ポーズ」や「長ポーズ」を必要数入力するとよいでしょう。

7-3-2. フレームの複製

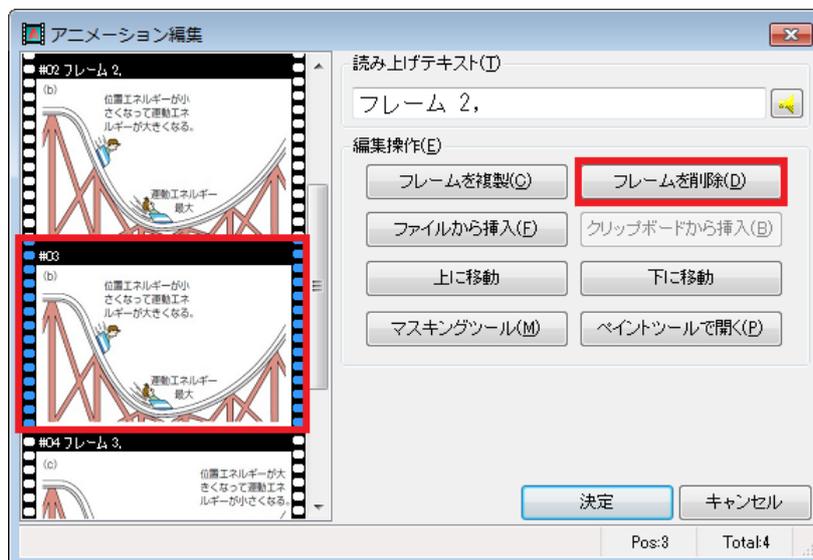
複製したいフレームを選択 → **フレームを複製** → コピーが次のフレームに挿入

※ 選択したフレームの読み上げテキストもコピーされます。



7-3-3. フレームの削除

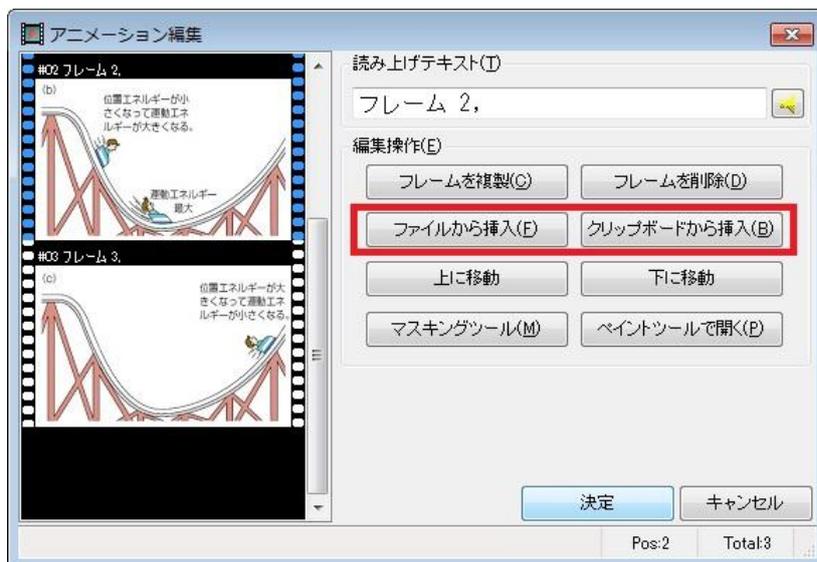
削除したいフレームを選択 → **フレームを削除**



7-3-4. ファイルやクリップボードから挿入する

ファイルから挿入 ボタンで、ファイル選択ダイアログから新たなフレーム画像を挿入することができます。

クリップボードに画像がある場合は、**クリップボードから挿入** ボタンでフレーム画像として挿入することができます。



挿入する画像サイズの調整

既存のフレーム画像サイズと、新たに挿入する画像のサイズが異なる場合は、以下のダイアログが表示されますので、任意の形式を選択して挿入して下さい。

サイズの指定方法は下記の3通りです。

① トリミング

画像を拡大縮小せず、現在のフレームサイズに収まるように切り取ります。

※ 切り取り位置の指定は **トリミングオプション** で指定できます。

② リサイズ (フィット)

画像の縦横比を保持したまま、フレームサイズに収まるように拡大縮小します。

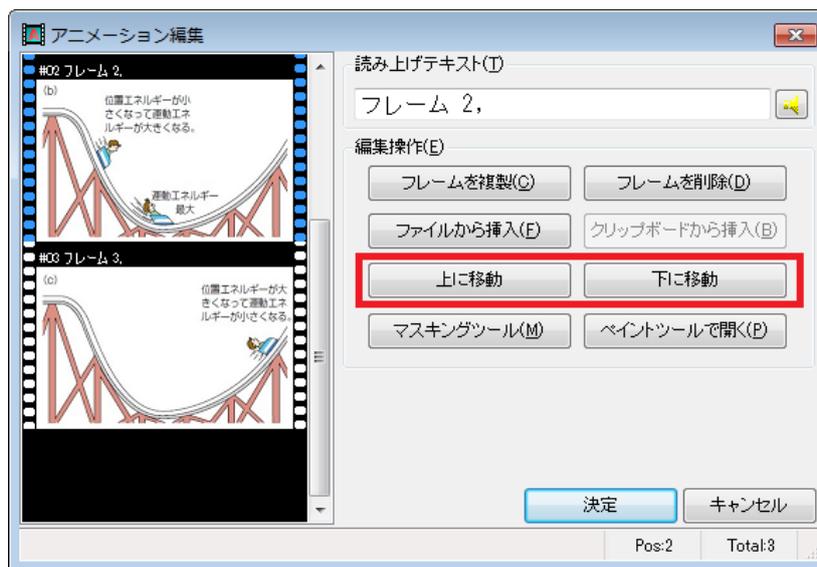
③ リサイズ (ストレッチ)

画像の縦横をフレームに収まるように拡大縮小します。

※ トリミングとリサイズ (フィット) の場合、余白が発生しますが、**背景色の変更** で任意の色を指定できます。背景色の初期値は画像の右上隅 4×4 ピクセルの色の平均色です。

7-3-5. フレームの移動

上に移動 / **下に移動** ボタンで、任意にフレームの順番を変更できます。

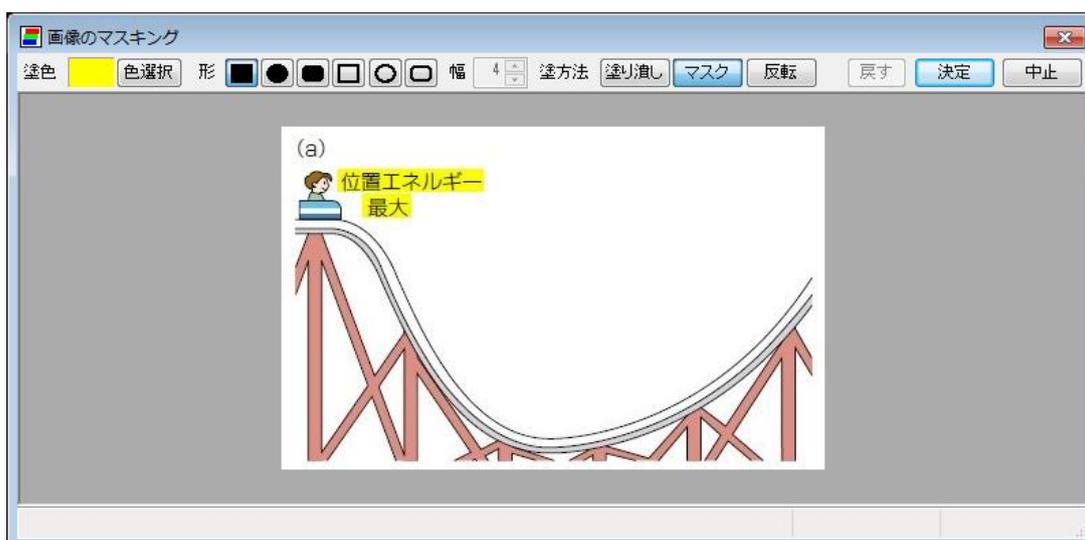


7-3-6. マスキングツール

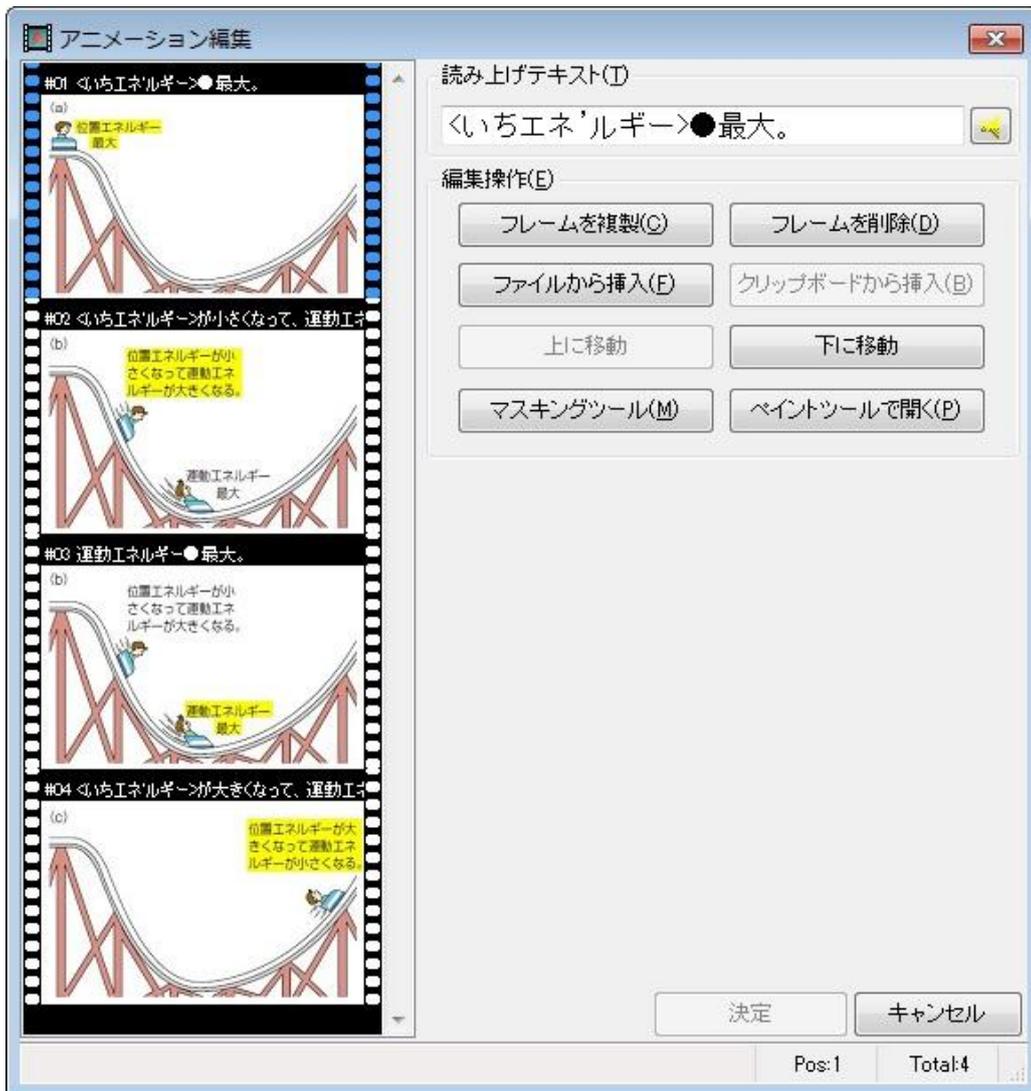
マスキングツールは、フレーム画像に矩形や楕円で着色する簡易ツールです。

マスキングツール ボタンか、選択中のフレームをダブルクリックすることで、マスキングツール画面が表示されます。

例えば、画像中のテキストにマスキングすることで、アニメーション再生時にテキストをハイライトしているように見せることができます。



さらに、マスキングしたテキストをその画像の読み上げテキストにすると、アニメーション再生時にテキストハイライトと音声同期しているように見せることができます。



7-3-7. ペイントツール

フレームの画像を外部のペイントツールで編集できます。

ペイントツールが設定されていない場合は、ファイル選択ダイアログが表示されますので、任意のペイントツールを選択して下さい。

(Windows ペイントの場合は、"C:¥Windows¥System32¥mspaint.exe" です。)

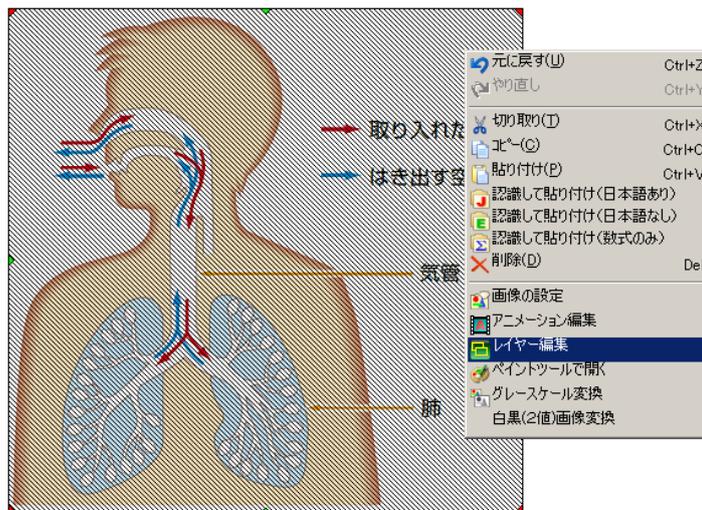
8. ハイライト領域編集機能

ChattyPad のハイライト領域機能とは、画像の任意の部分を範囲選択して読上テキストを設定することにより、DAISY コンテンツで画像の指定部分をハイライト表示する機能です。

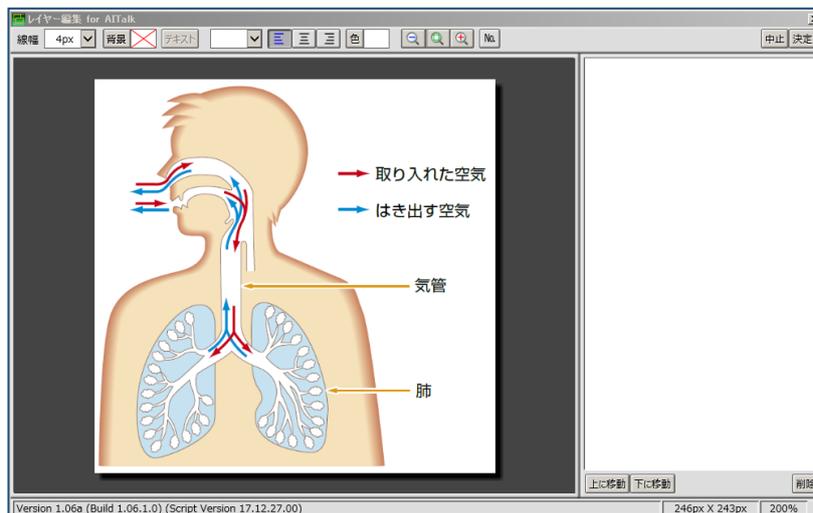
8-1. 画像中の文字をハイライトしながら読み上げる機能

ChattyPad 画面上の画像中の文字を順次読み上げていく機能を編集します。

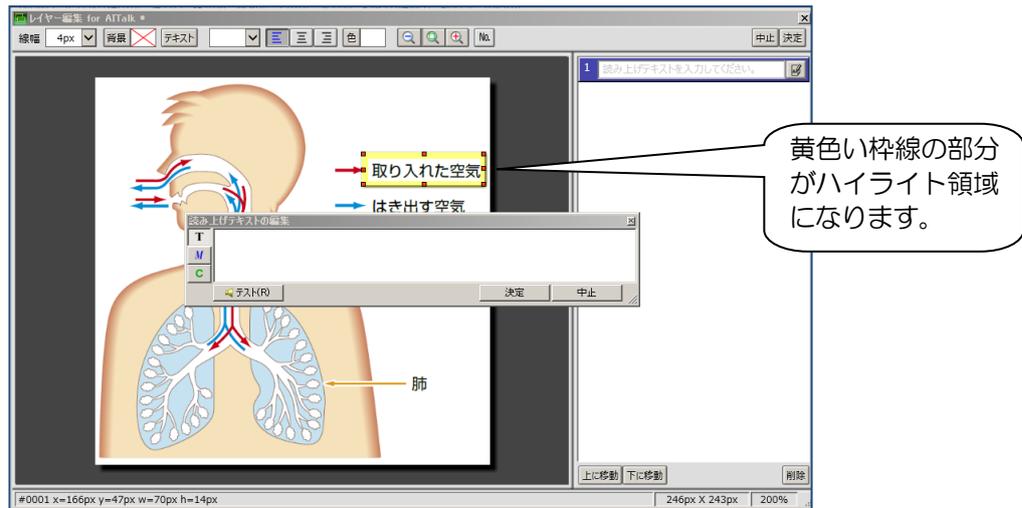
- ① 画像を選択 → 右クリック → [ハイライト領域編集] をクリック



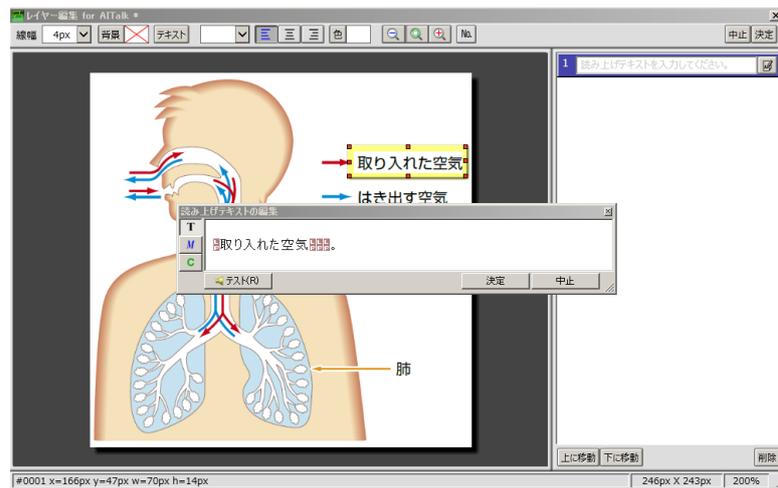
- ② ハイライト領域編集画面が出ます。



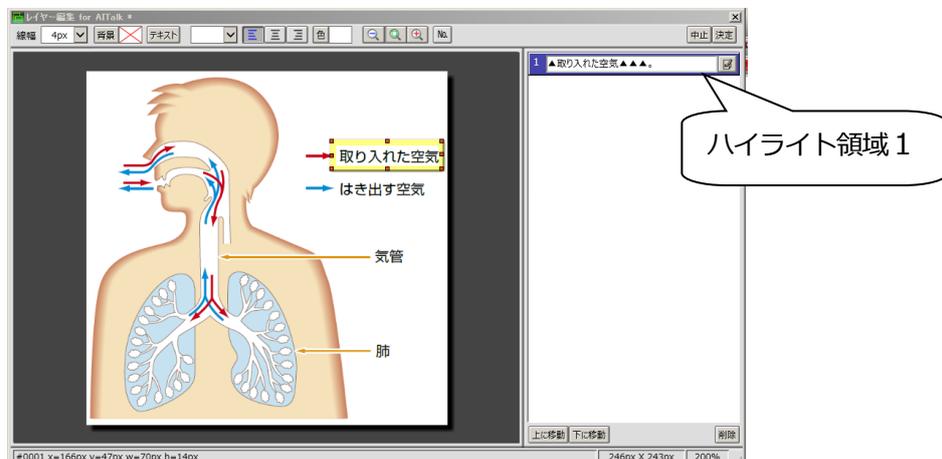
- ③ 読み上げハイライトさせたい部分を指定します。



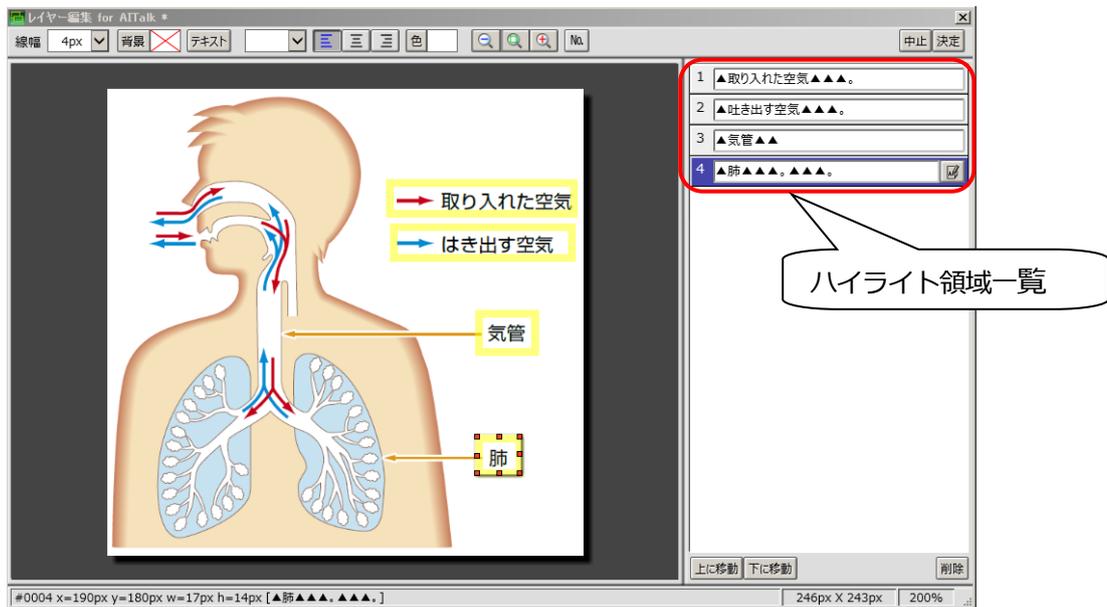
- ④ 読み上げテキストの編集画面に、読み上げテキストを入力します。数式も入力できます。必要に応じてポーズなども挿入するとよいでしょう。



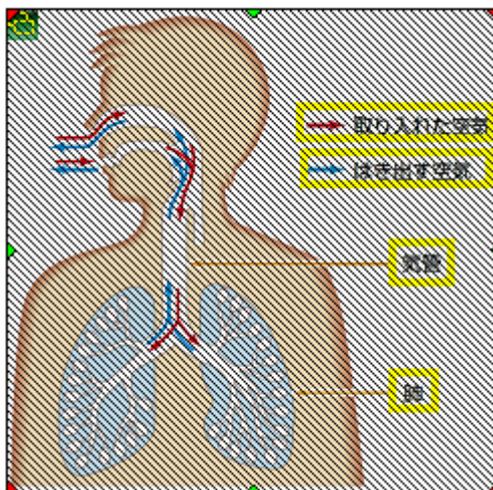
- ⑤ 「テスト」をクリックして読みを確認します。必要な修正をして、「決定」をクリックするとハイライト領域1が作成されます。



- ⑥ 同様にしてハイライト領域を順次編集します。DAISY 画面ではハイライト領域一覧の順番でハイライトしながら読み上げます。



- ⑦ 「決定」をクリックすると、ChattyPad 画面に戻り、画面の左上に  'アイコンが表示されています。

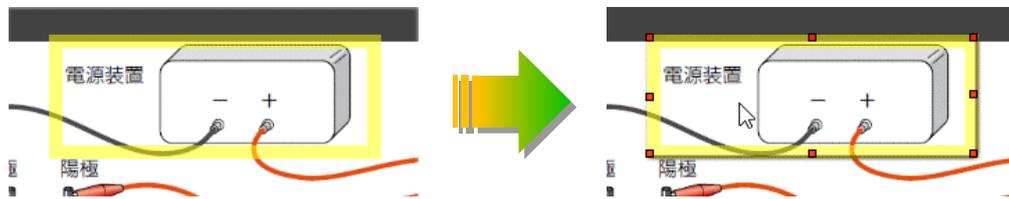


- ※ 完成したら、ChattyPad で聞いて確認しましょう。ChattyPad 画面では全てのハイライト領域の黄色の枠線が見えますが、DAISY にすると、読みに合わせたハイライトだけになります。
- ※ 1つの画像に対してハイライト領域とアニメーションの両方を同時に設定することは出来ません。ハイライト領域設定された画像に対してアニメーション編集を実行するとハイライト領域編集された内容は全て破棄されます。

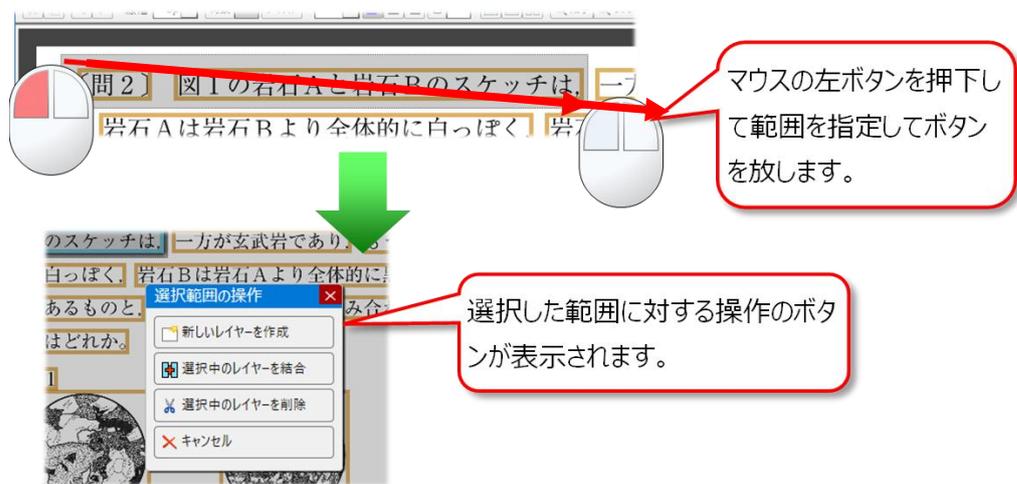
8-2. ハイライト領域の編集

8-2-1. ハイライト領域の選択

ハイライト領域をクリックすると、選択状態になり周囲に赤いマーカーが表示されます。



8-2-2. 複数のハイライト領域の範囲指定と操作



「選択範囲の操作」画面から「新しい領域の作成」など目的の操作ボタンをクリックしてください。

「キャンセル」ボタンをクリックすると「選択範囲の操作」画面が消えますが、選択したハイライト領域は保持されます。(画面の外側の余白部分をクリックしても画面は消えます) 領域が水色の枠で表示された選択状態でもツールバーから領域の切り取りや結合等の操作が可能です。

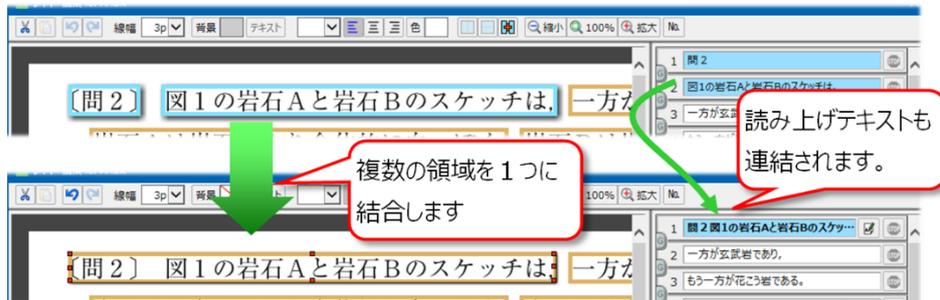
8-2-3. キー操作での複数選択

「Ctrl」キーを押したまま、マウスで任意のハイライト領域をクリックすることにより、複数の領域を選択状態にできます。



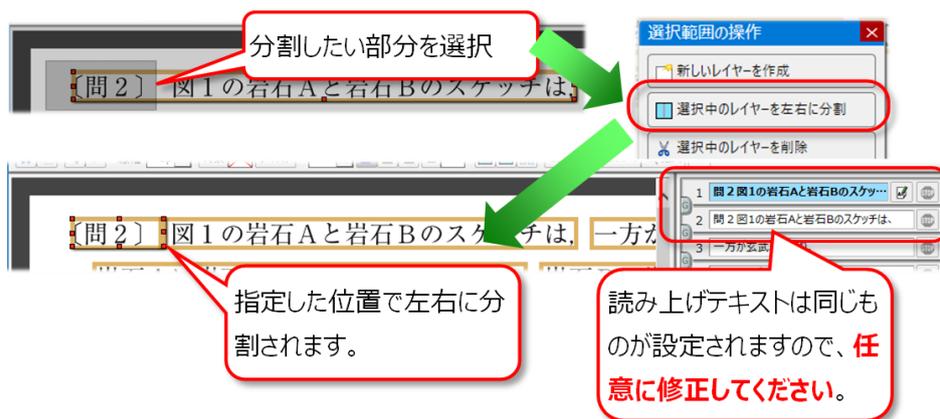
8-2-4. ハイライト領域の結合

複数の領域を選択した状態で「選択中の領域を結合」か、ツールバーの「」ボタンで、1つの領域に結合することができます。



8-2-5. ハイライト領域の分割

1つの領域を2つに分割したい場合は、分割したい部分を範囲選択して、「選択範囲の操作」画面から「選択範囲の領域を左右に分割」をクリックします。



※縦書きの場合も上下に分割することが可能です。

※ツールボタンのを使用した場合は、矩形の中間地点で2分割されます。

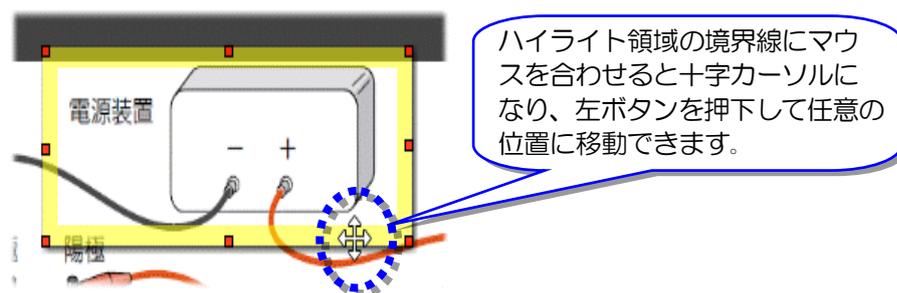
8-2-6. ハイライト領域の削除（切り取り）と貼り付け

選択した複数の領域を「 選択中のレイヤーを削除」か、ツールバーの「」で削除することができます。

直前に削除した領域は、ハイライト領域一覧の任意の位置（順番）に貼り付けることができます。

※領域の「上に移動」や「下に移動」で順番を入れ替える操作を1回の操作でできます。

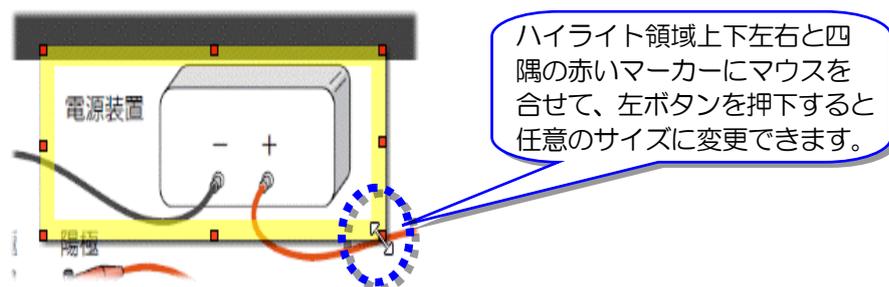
8-2-7. ハイライト領域の移動



8-2-8. ハイライト領域をまとめて移動

複数の領域を選択した状態で、「Ctrl」 + 上下左右の方向キーを押すことにより、1ピクセルずつ任意の方向に移動することができます。

8-2-9. ハイライト領域のサイズ変更



8-2-10. ハイライト領域をまとめてサイズ変更

複数の領域を選択した状態で、「Ctrl」 + 「プラス」もしくは「Ctrl」 + 「マイナス」キーで拡大縮小することができます。

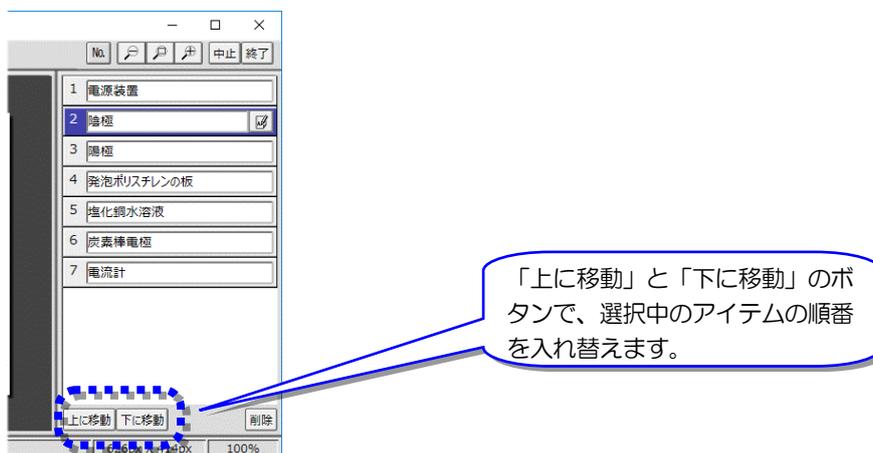
※通常は、「+」はShiftを押して入力しますが、この操作ではShiftは押さないでください。

8-2-11. 読み上げテキストの再編集



8-2-12. 読み上げの順番（ハイライト領域の順番）の変更

読み上げる順番を変更するには、画面右の任意のハイライト領域をクリックして、画面下の「上に移動」と「下に移動」のボタンで順番を変更します。



8-2-13. ハイライト領域のグループ化

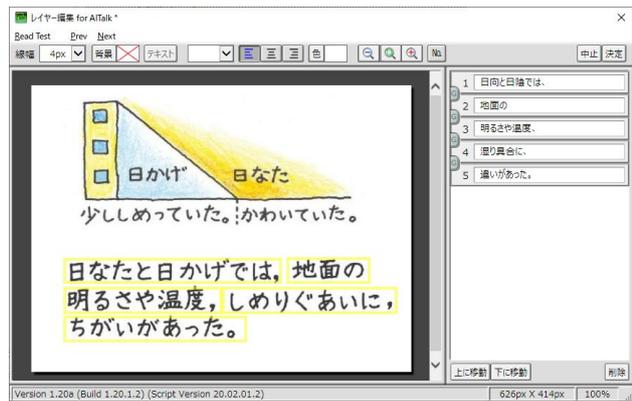
ハイライト領域のグループ化とは、複数の領域をまとめて1の領域のように連続して一気に読み上げます。個々の領域は音声の経過時間ごとにアクティブになるので、途切れることなくハイライト表示することができます。

従来のハイライト領域編集では、右のような画像の場合、

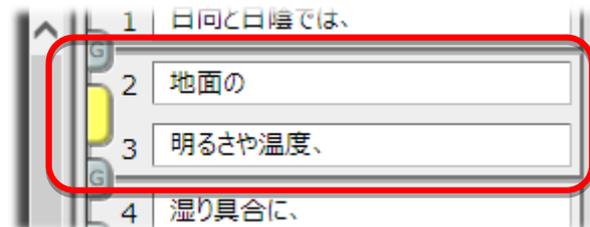
- ① 「日なたと日かげでは、」
- ② 「地面の」
- ③ 「明るさや温度、」
- ④ 「しめりぐあいに、」
- ⑤ 「ちがいがああります」

というように領域設定すると、各々が

個別に読み上げられるため、特に②と③のように連続して読み上げたい場合に違和感が発生します。



新しいグループ化機能では、②と③のように離れた領域をグループ化して連続して読み上げつつ、個別にハイライトすることができます。



※ ChattyBooks と イーリーダー では連続再生しますが、AMIS や VOD ではハイライト領域の切り替わりで、音声途切れて聞こえることがあります。

※ ChattyBooks 及び ChattyBookExpress は最新の Ver2.04 から対応しています。

【操作方法】

グループ化する方法はいたって簡単で、従来の要領でハイライト領域を作成してゆき、グループ化したい項目と項目の間にある「G」のボタンをクリックします。



【読み上げテキストの編集】

グループ化された項目（ハイライト領域）は従来の読み上げテキストの編集と若干異なり、**「分割点」**を設定します。

分割点とはグループ化された項目の区切り位置のことで、グループ化された項目を読み上げる際に、次の項目へハイライトを移動するタイミングの目印です。



分割点は任意の場所に設定することが可能ですが、必ずグループ化された項目数 - 1 に限られます。(分割点で区切られた範囲の数が項目数)

※外部の音声を貼り付けた場合は分割点を設定することはできません。



分割点を指定しない方法

分割点を設定せずにグループ化した項目を読み上げることも可能です。

この場合は、全体の再生時間を項目数で割った時間で、ハイライトが切り替わります。

例えば、上記のケースで全体を読み上げるのに5秒掛かる場合は、2.5秒で次のハイライトに切り替わります。

■注意■

グループ化された項目の読み上げ時間は、グループ全体の再生時間に対する各項目の再生時間の割合で決定しますが、音声エンジン(AITalk や SAPI)で全体で読み上げた再生時間と、個別に読み上げた再生時間の合計は必ずしも一致するとは限りません。

このため、編集画面上や DAISY・EPUB コンテンツに変換した場合に再生時間とハイライトのタイミングにミリ秒単位のズレが発生します。

ズレが極端な場合は、分割点を移動するなどの方法で調整してください。

8-2-14. アンドウ・リドウ（元に戻す・やり直す）機能

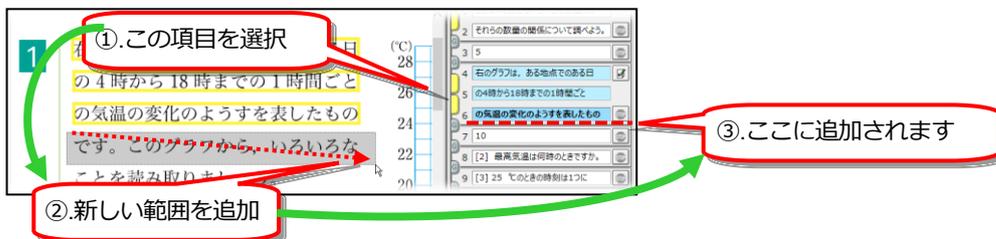


アンドウ・リドウ（元に戻す・やり直す）ボタンを追加しました。

最大20ステップ前の状態にまで戻すことができます。

8-2-15. 新規ハイライト領域の挿入位置

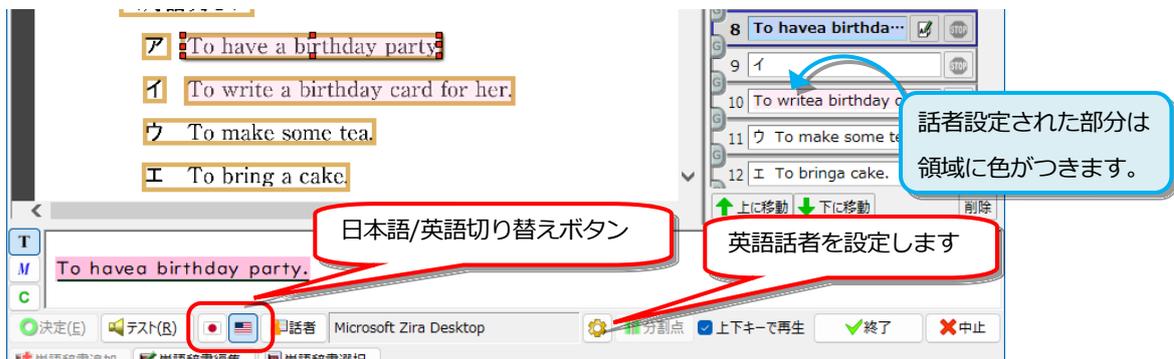
従来のハイライト領域編集では、画面上の任意の範囲を選択して新しい領域を作成するとハイライト領域一覧の最後に追加されていましたが、新しい方式では選択中のハイライト領域の後方に追加されるようになりました。



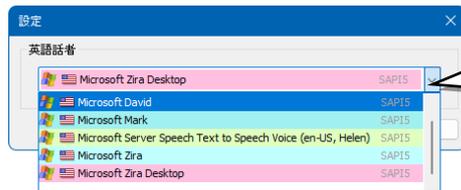
また既存のハイライト領域が選択されていない場合は、近くの領域の後方に挿入されます。

8-2-16. 日本語/英語話者切り替え

選択中のハイライト領域の読み上げ話者（音声）を、ワンタッチで日本語や英語に切り替えることができます。

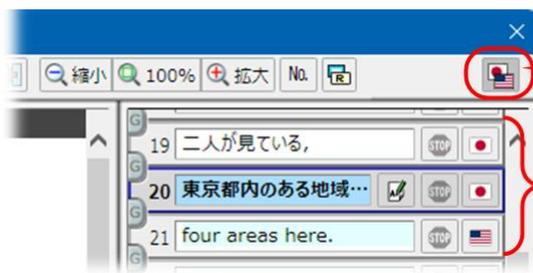


※英語話者の初期設定は「Microsoft Zira Desktop」です。英語話者を変更するには「」設定ボタンをクリックしてください。



「」設定ボタンをクリックすると「設定」画面が表示されますので、リストから英語話者に設定するアイテムを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

また、画面右上のボタンをクリックすると、画面右のハイライト領域一覧にも言語切り替えボタンを表示できます。このボタンはクリックするたびに日本語/英語の話者切り替えができます。



ここをクリック

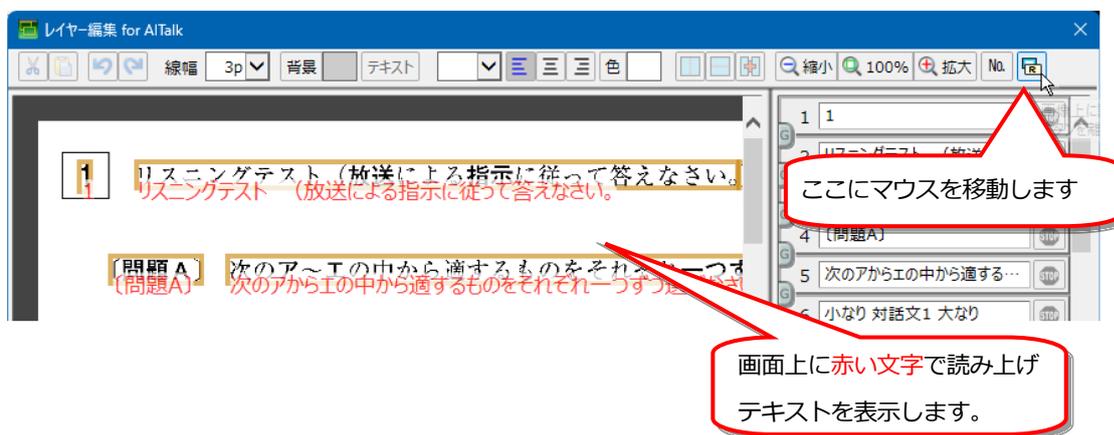
言語切替ボタンが表示されます

8-2-17. 読み上げテキスト表示

画像上に読み上げテキストを表示して、画像の文字と読み上げを比較できます。

画面上部の「」ボタンにマウスをあわせると読み上げテキストが表示されます。

※ マウス以外にも、F1 キーを押下するか、Ctrl+[T]キーで表示することができます。

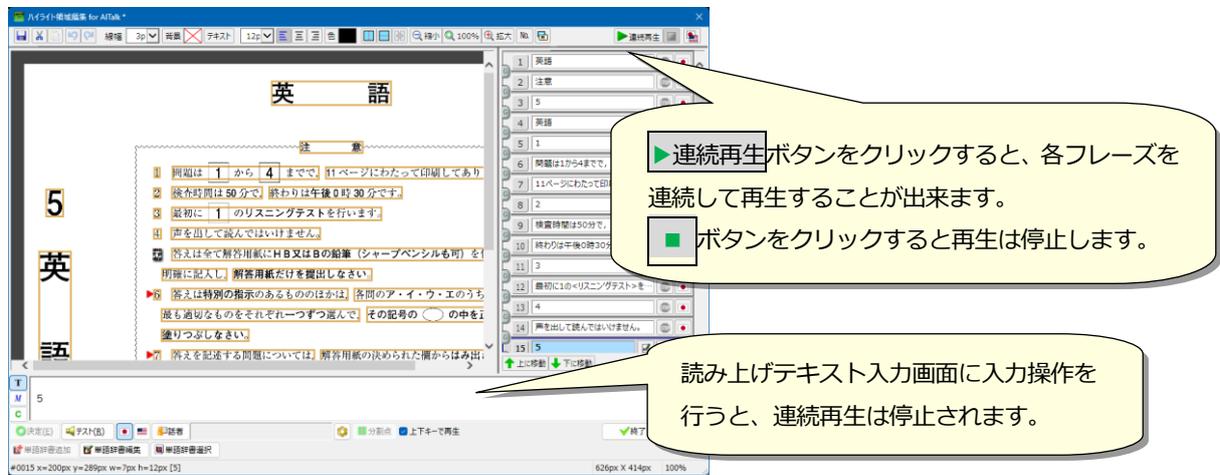


ここにマウスを移動します

画面上に赤い文字で読み上げテキストを表示します。

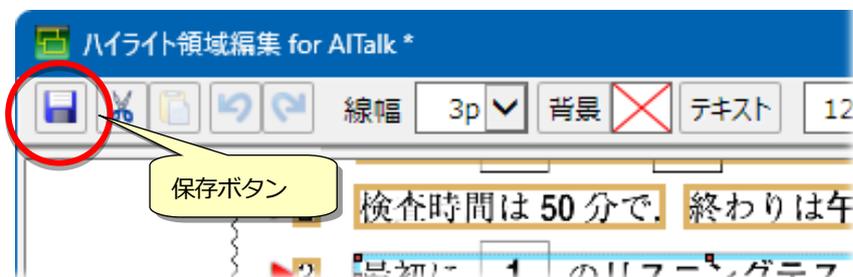
8-2-18. 連続再生

ハイライト編集画面の▶連続再生ボタンにより、編集中の画面の読み上げテキストを連続再生することができます。



8-2-19. 保存機能

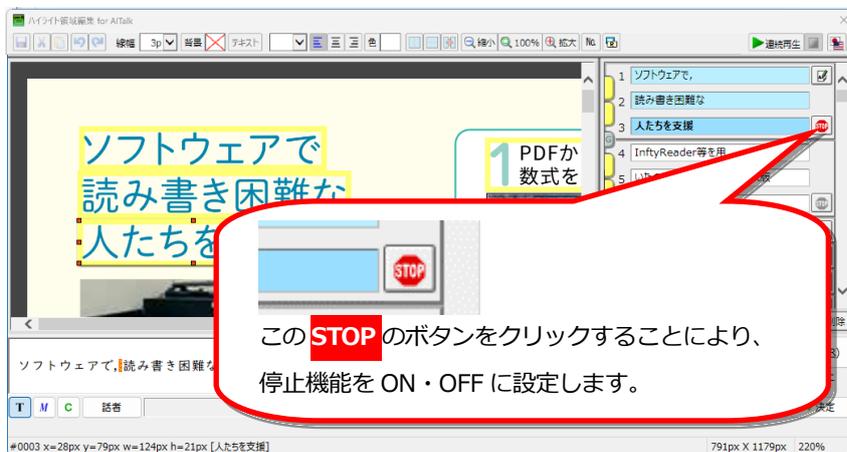
ハイライト編集画面のツールバーの左端にある保存ボタンをクリックするか Ctrl+S キーで現在の編集状態をファイルに保存できます。



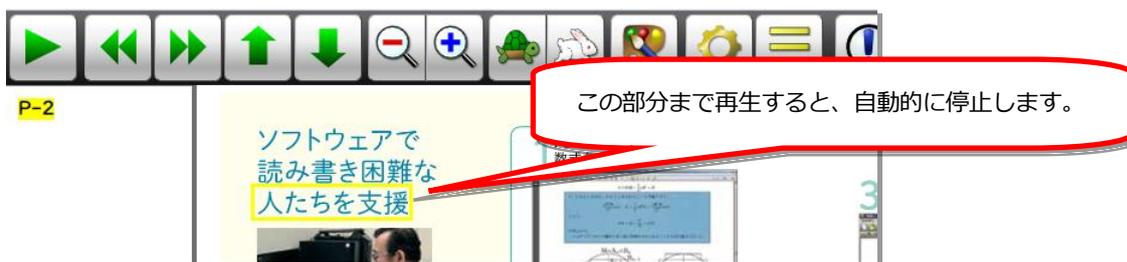
※一旦保存して、最終的に **×中止** ボタンでハイライト領域編集を終了した場合は、編集開始前の状態でファイルを保存します。

8-2-20. ChattyBook の再生停止機能

ChattyInfty3から出力したChattyBookのハイライト領域再生において、特定の箇所でハイライト領域再生を停止することができます。再生停止の設定はハイライト領域編集画面でおこないます。

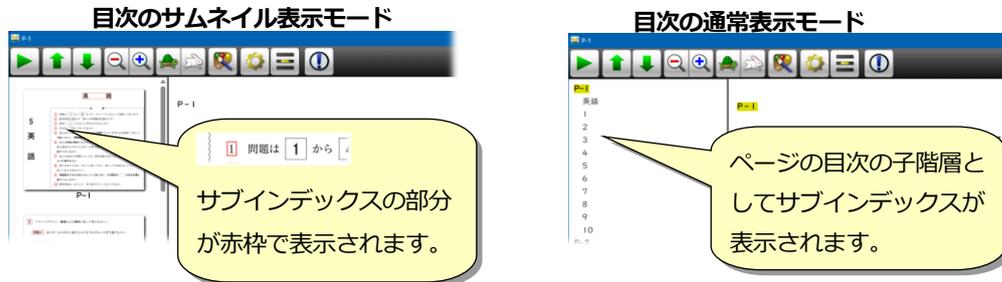


ChattyBookで再生例

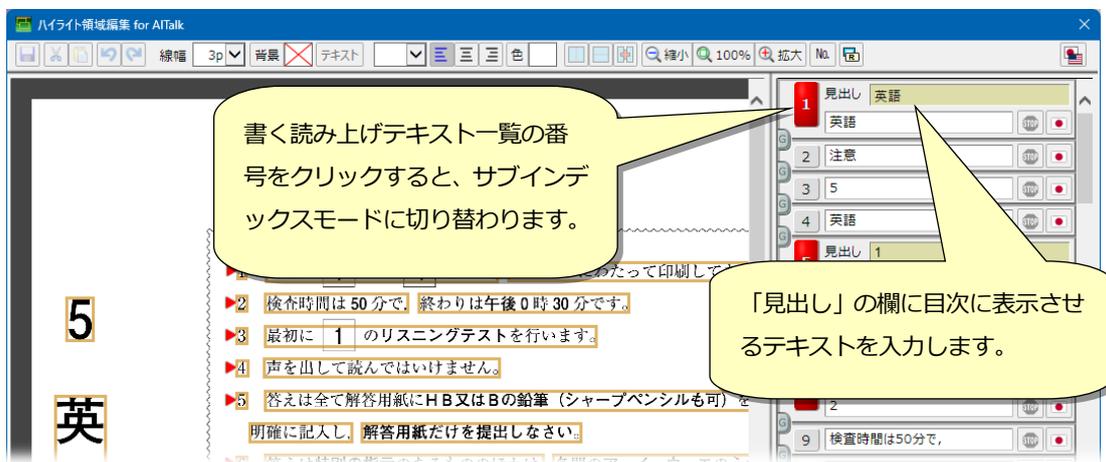


8-2-21. サブインデックス機能

ハイライト領域編集画面で、特定のフレーズに任意にサブインデックス（副見出し）設定を行うことにより、ChattyBookの固定レイアウト表示に目次を追加することができます。

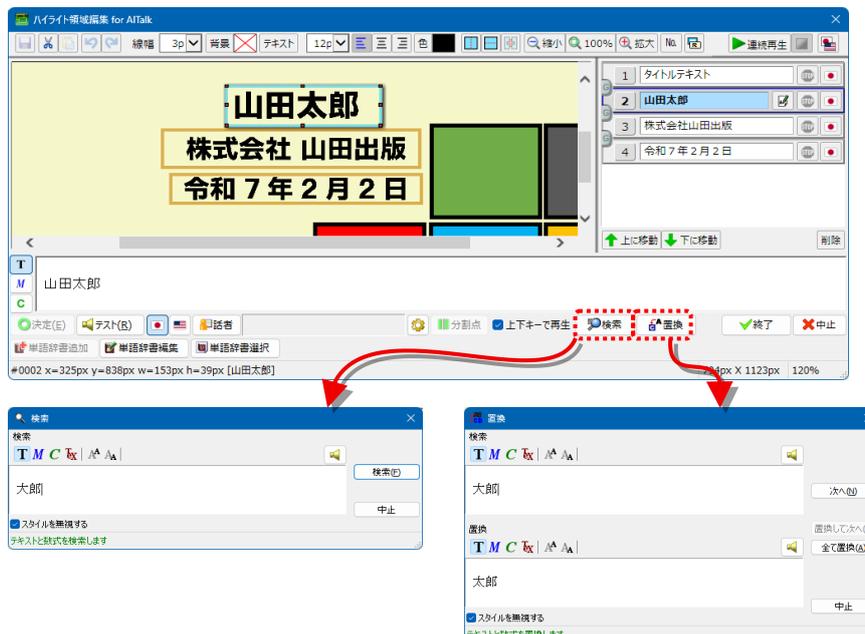


設定方法



8-2-22. 「検索」と「置換」機能

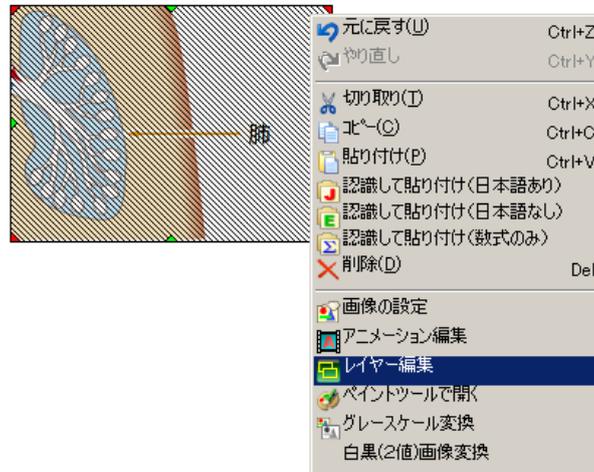
ハイライト編集画面で各フレーズに対して検索や置換を行うことができます。



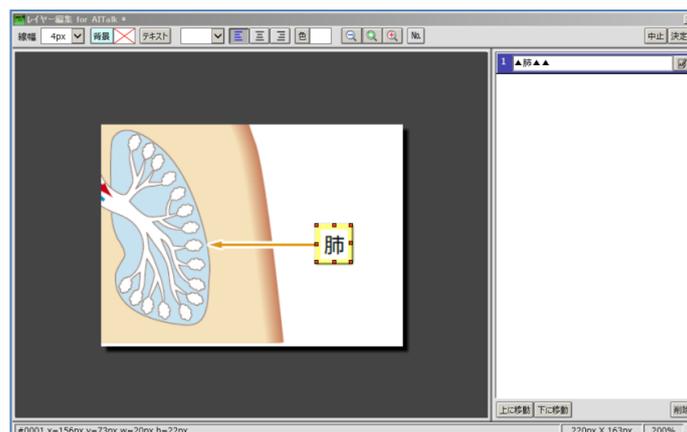
8-3. 画像の中に文字を書き込み読み上げるハイライト領域編集（ルビ付け可能）

ここでは画像中の文字をルビ付き文字に置き換え、ハイライトさせる例をあげます。

- ① 画像を選択 → 右クリック → [ハイライト領域編集] をクリック

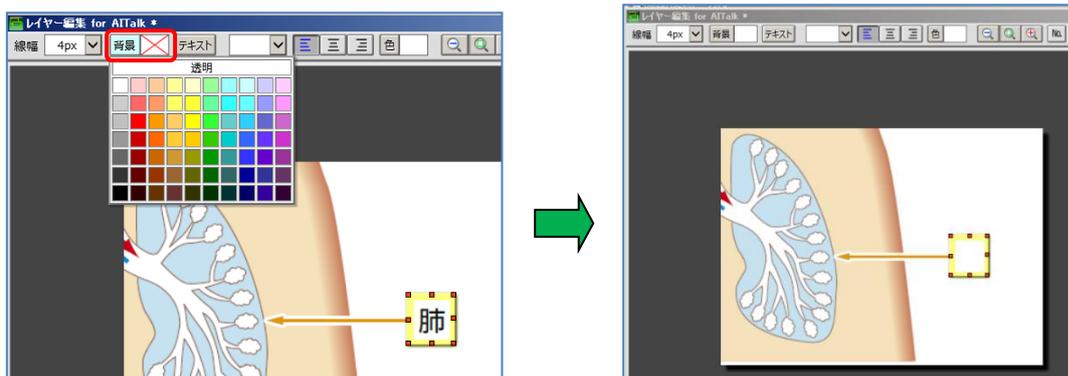


- ② ハイライト領域編集画面で、読み上げテキストの編集をします。(8-1 と同様)



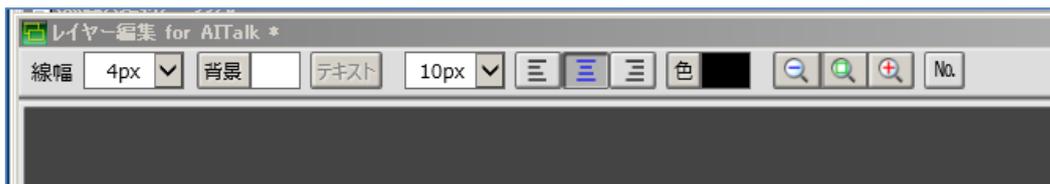
- ③ 表示テキストの書式設定をします。

- a)  をクリックして背景色を決めます。表示テキストを設定する場合は、背景の画像の文字を隠すために背景の色を設定します。この例では画像の背景に合わせて白にしました。

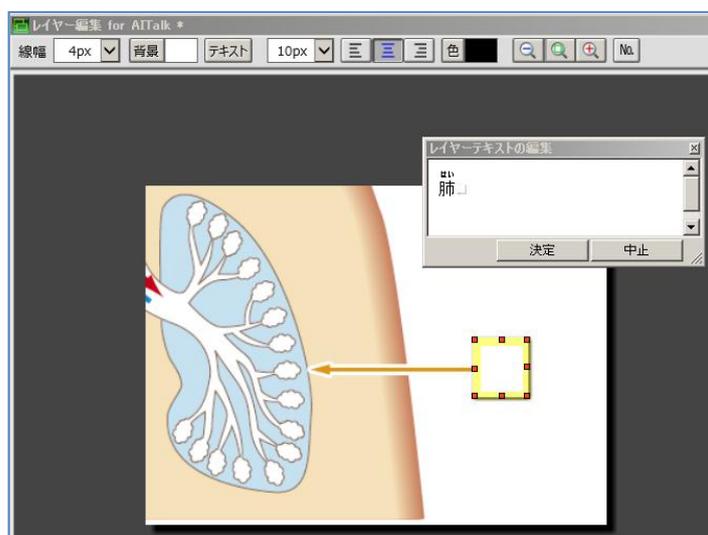


b) 文字サイズ / 配置 / 文字の色 を任意に決めます。

この例では、文字サイズを 10pt / 配置を中央 / 文字の色を黒にしています。

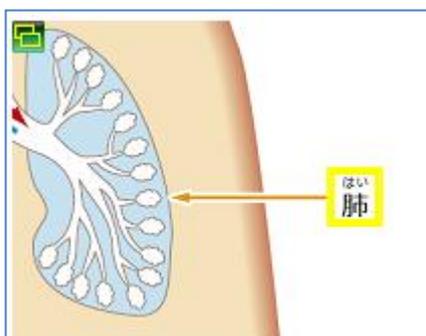


c) 領域をダブルクリックすると、「ハイライト領域テキストの編集」画面が表示されますので、表示テキストを入力します。この画面で本文と同様に、 + + でルビが設定できます。



d) 「決定」をクリックするとルビの付いた文字が領域内部に表示されます。ここで文字サイズ等の変更ができます。

e) ハイライト領域編集画面の「決定」をクリックすると、ChattyPad 画面に戻り、画像中の文字にルビが振られています。



※ 同じ要領で、画像の中に任意の文字を書き込み、ハイライトさせることができます。

8-4. ハイライト領域機能とアニメーション機能の比較

	ハイライト領域機能	アニメーション機能
長所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図中の文字や特定部分のハイライト表示に適しています。 ➤ DAISY画面において、クリックした位置から読み上げ可能なため、図中の文字が多い場合に適しています。 ➤ VOD でも読み上げ画面が揺れることはありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 植物の成長などのような変化のある画像に適しています。
短所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新しいHTMLの仕様を使っているので、EasyReaderやWindowsXPのPCでは再生することが出来ません。InternetExplorer11が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ DASIY出力した場合、アニメーションのフレーム毎に画像ファイルを作成しますので、コンテンツ全体のファイルサイズが大きくなります。 ➤ ページを切り替えてアニメーション表示しますので、VODでチラツキが発生します。ChattyBooksでは問題ありません。

場合に応じて、ハイライト領域機能とアニメーション機能を使い分けて下さい。

9. PDF から「認識してはりつけ」機能（オプション）

PDFの選択したエリア（数式を含む）を認識して、直接 ChattyPad にテキストや数式として貼り付け、編集したり読み上げさせたりすることが可能になりました。

9-1. 使用条件

この機能を使うためには、別途 InftyReader (Ver.3.0以後のもの) をインストールする必要があります。

InftyReader は <http://www.sciaccess.net/jp/InftyReader/> から入手して、ChattyPad (AITalk版) と同じフォルダにインストールして下さい。例えば、

C:\Program Files (x86) \sAccessNet\ChattyPad(AITalk5Online)

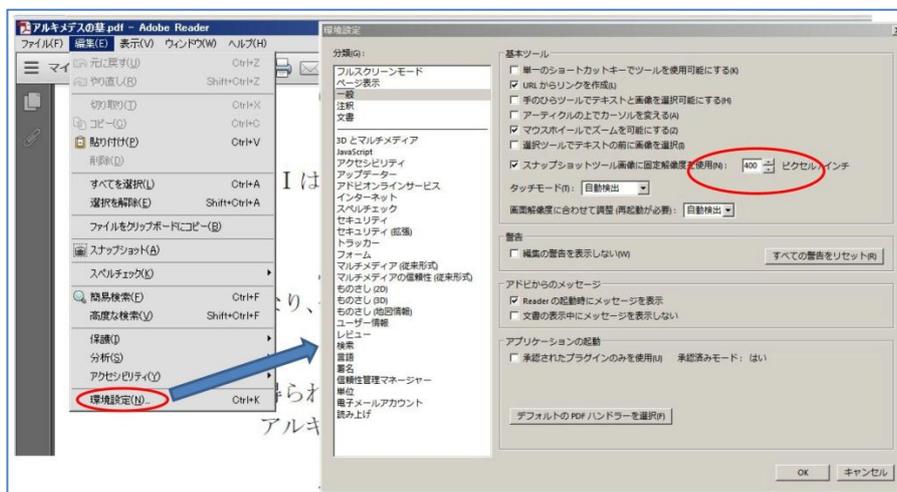
C:\Program Files (x86) \sAccessNet\InftyReader

というように同じフォルダに ChattyPad (AITalk) と InftyReader のフォルダが入るようにします。

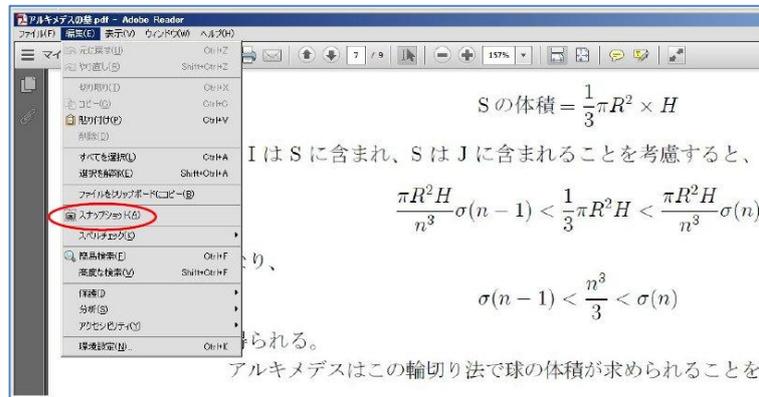
9-2. 使い方

(1) 準備 : Adobe Reader の設定

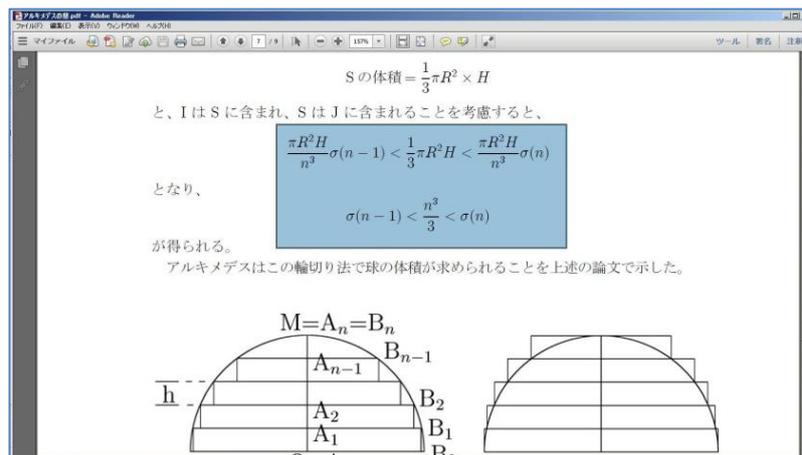
バージョン 10 以後の Adobe Reader には「スナップショット」という便利な機能があります。PDF から好きな部分を範囲指定して、予め定めた任意の解像度で画像としてコピーできます。はじめに、下図のように Adobe Reader の「編集」メニューから「環境設定を」を選択し、「スナップショットの解像度」を 400DPI に設定して下さい。



(2) 対象のPDFをAdobe Reader (Ver.10以後) で開き、「編集」メニュー内の「スナップショット」をクリックします。



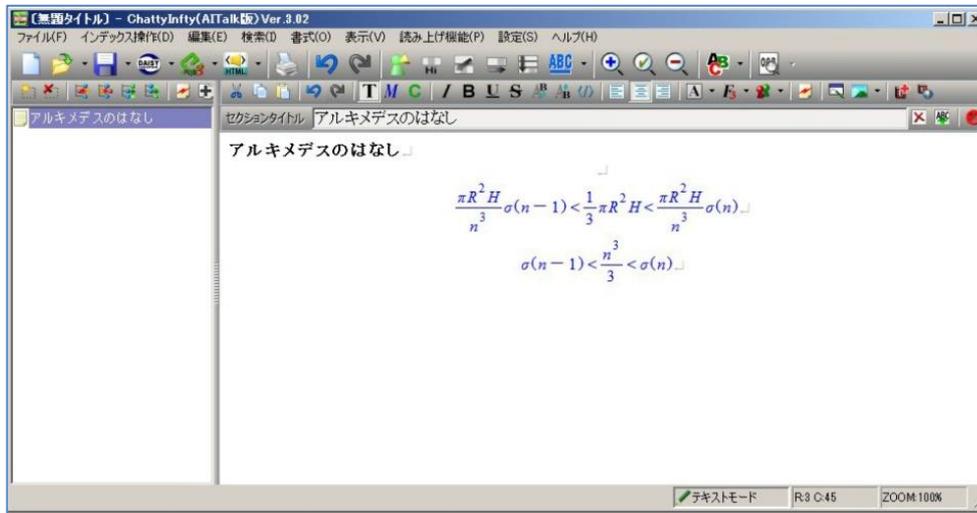
(3) PDF の画面上の認識したい数式を範囲指定します。スナップショットがONになっていると、範囲指定するだけで、その部分の画像が先に指定した解像度でクリップボードにコピーされます。



次に ChattyPad の画面で、右クリックのメニューから「認識して貼り付け(数式のみ)」を選択

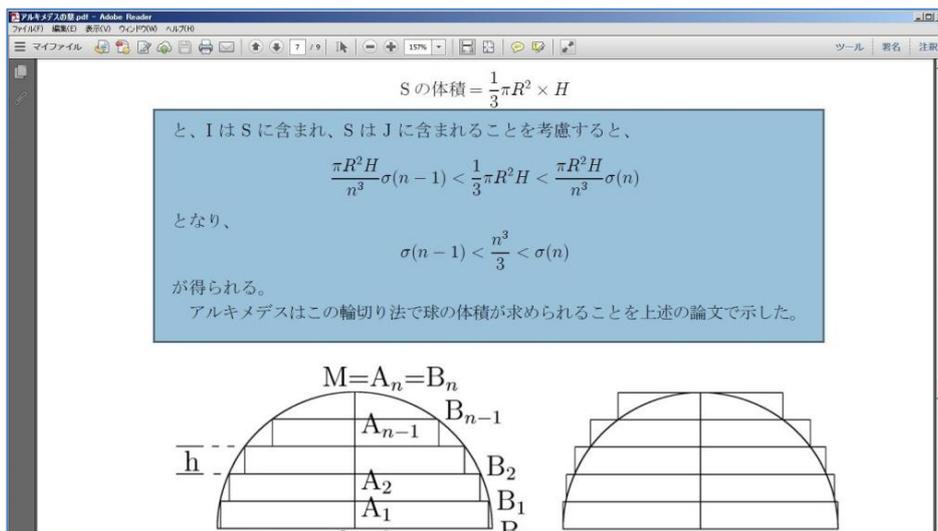


すると、ChattyPad のカーソル位置にスナップショットでコピーした領域の数式が画像としてではなく、編集可能な数式として貼り付きます。キーボードから入力した数式と同じく、AITalk による読み上げもできます。

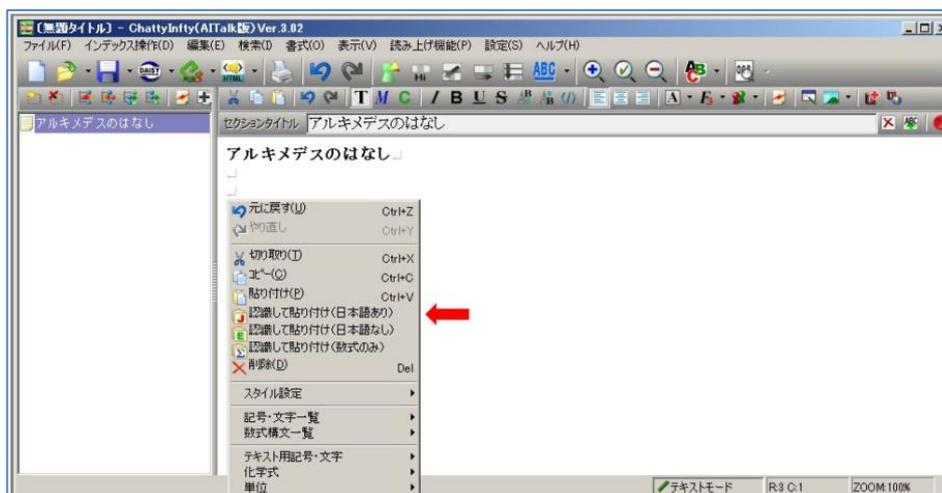


(4) 日本語と数式が混在した文章の領域をスナップショットでクリップして、ChattyPad の本文エリアに認識して貼り付けることも出来ます。その場合は、右クリックメニューから「認識して貼り付け (日本語あり)」を選択します。(次ページの図参照)。

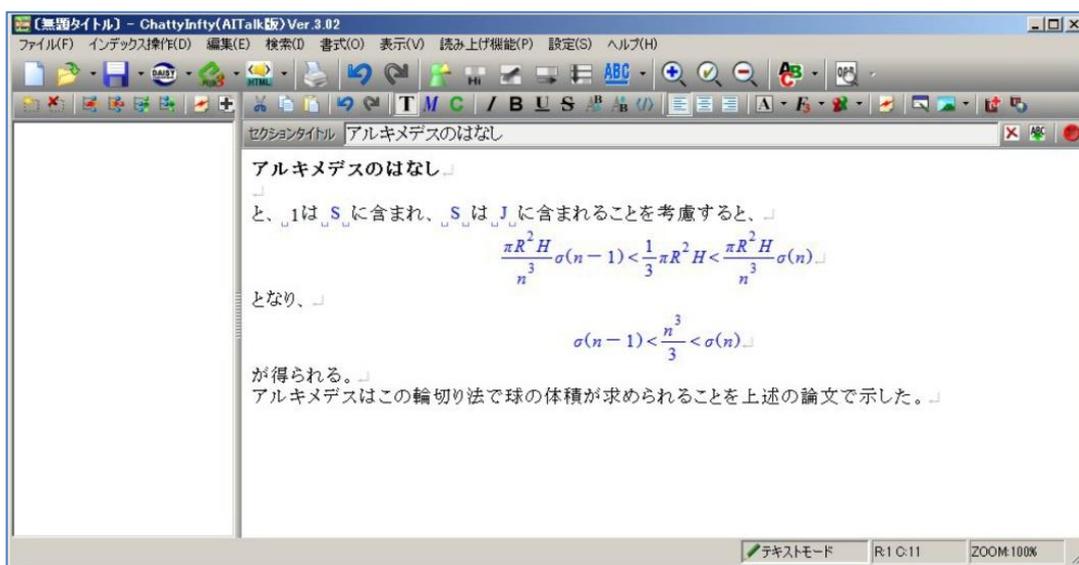
A. スナップショットによるPDFからのコピー



B. 「認識して貼り付け（日本語あり）」を選択

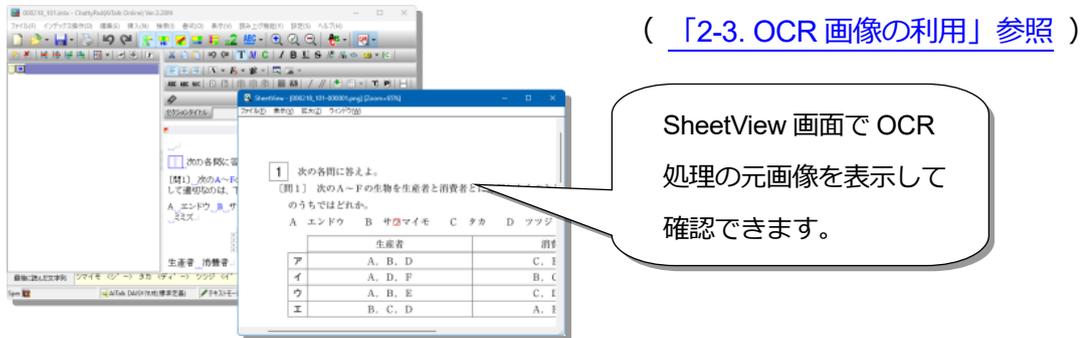


C. 貼り付けられた文章（2行目の「Iは」が「1は」と誤認識されているが、他は正しく認識されている。）



10. OCR 元画像インライン対応

ChattyBox (MY 本箱) の「操作」→「アプリ (ChattyPad) で修正」→「修正用ファイルのダウンロード」で取得した imlx ファイルは、InftyReader で OCR 処理を行ったファイルです。このファイルを編集する場合、読み取った元画像を SheetView 画面 (別ウィンドウ) で確認することが出来ます。その元画像から必要な部分を切り取って、貼り付けることが出来ます。



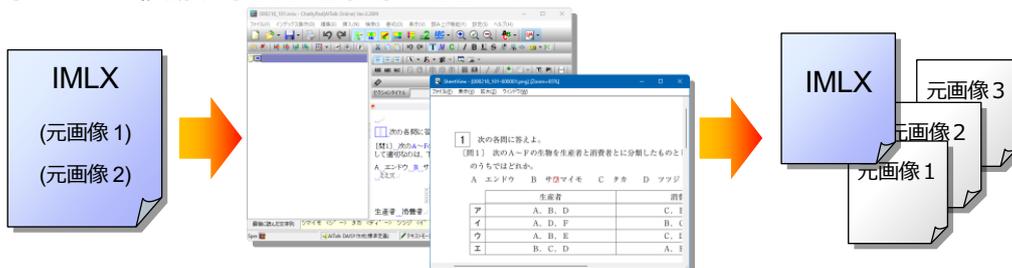
従来は、IMLX ファイルと同じ場所に元画像(複数の画像)が配置されている必要があります。新しい IMLX の方式では元画像を IMLX ファイルの中にインライン画像として取り込むことにより単一のファイルでコピーしたり移動したりが可能となります。



※ ChattyInfty/ChattyPad で開く場合の注意事項

最新版のアプリ(ChattyInfty や ChattyPad)では、元画像をインライン化した IMLX ファイルを開くときに、インライン画像を外部ファイルとして出力します。(従来のように外部ファイルが必要な状態に戻します。)

一旦アプリで開くとインライン化は解除されますので、アプリで開いたあとは元画像も含めてコピーや移動するようにしてください。



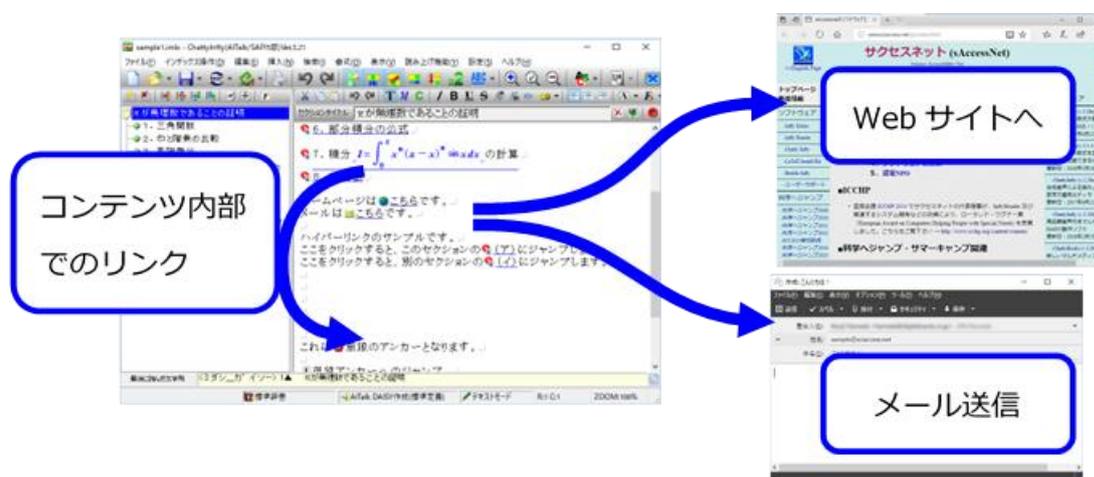
11. ハイパーリンク機能

IMLXコンテンツでHTMLと同じようなハイパーリンク機能を実装しました。

コンテンツ内の指定箇所から別の箇所へのジャンプやウェブサイトを開く・メールを送信するといったことが可能になります。

ハイパーリンクはDAISY2.02やEPUB3出力にも反映され、DAISY/EPUBプレイヤーなどでも利用可能となります。(※プレイヤー側が対応している必要があります)

ハイパーリンクはHTMLの<A>(アンカータグ)と同じように、アンカー固有のid(参照id)と、参照先を指定するhrefの2つの設定により構成しています。



(1) ハイパーリンクアイコンの種類

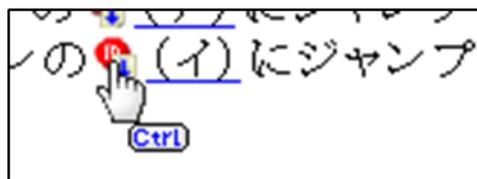
ハイパーリンクが設定された箇所には下記のようなアイコンが表示されます。

	アイコン	機能	内容
①		参照ID	他のハイパーリンクから参照されるIDを設定しています。
②		参照先指定	他の参照IDへの参照を設定しています。
③		参照ID+ 参照先指定	別の場所への参照と、他からの参照IDを設定しています。
④		Webサイト	外部Webサイトへハイパーリンクです。
⑤		参照ID+ Webサイト	外部Webサイトへのリンクと、他からの参照IDを設定しています。
⑥		メール作成	メールを送信するための設定です。
⑦		参照ID+ メール作成	メールを送信する設定と、他からの参照IDを設定しています。

※このアイコンはChattyPadの編集画面上で表示されるアイコンです。

(2) ハイパーリンク操作

ハイパーリンク設定された箇所はアイコンにマウスを合わせると右の図のように **Ctrl** の付いたマウスカーソルが表示されます。

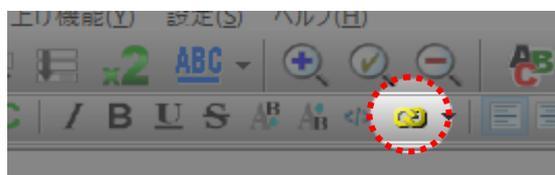


この状態でキーボードの **Ctrl** キーを押したまま、マウスの左ボタンをクリックして下さい。

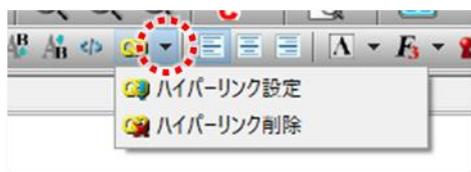
※ダブルクリックするとハイパーリンク設定が表示されます。設定に関しては次項を参照して下さい。

(3) 設定方法

コンテンツにハイパーリンクを設定するには、ツールバーの下図のボタンを使用します。



設定方法の詳細は次項を参照して下さい。

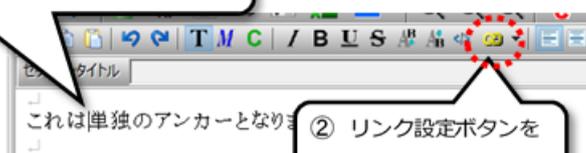


ハイパーリンクボタンの右の▼ボタンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示され、このメニューからハイパーリンクの設定や削除を行うことができます。

① アンカーのみの設定

■参照 ID の設定(他への参照などを持たない被参照のみのアンカー)

① アンカー設定場所にカーソルを移動します。

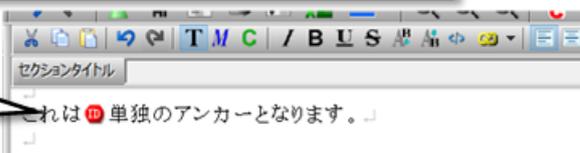


② リンク設定ボタンをクリックします。

③ リンク ID 設定画面が表示されますので、任意の ID を入力して決定ボタンをクリックします。



④ リンク ID が設定されると、**ID** アイコンが表示されます。



リンク ID の設定に関する注意事項

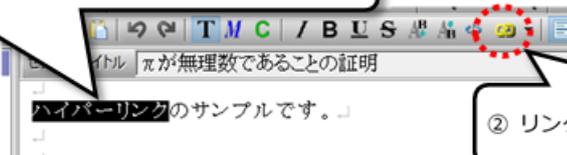
設定できる文字は、アルファベット・数字・アンダーバー・ハイフンのみです。

ID は必ずアルファベットから始まるようにして下さい。先頭に数字を設定することは出来ません。

既に他の箇所で設定している ID と重複して設定することが出来ません。必ずユニークな ID にして下さい。

② コンテンツ内のハイパーリンク設定

① ハイパーリンクを設定する範囲を選択します。



② リンク設定ボタンをクリックします。

③ 設定済みのリンク ID の一覧から目的のジャンプ先を選択して、決定ボタンをクリックします。

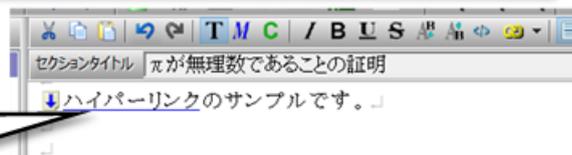


リンク ID は省略可能です。相互リンクなどの場合は設定して下さい。

-->[●●●●]のような表示は、既にリンクの貼られているアンカーです。

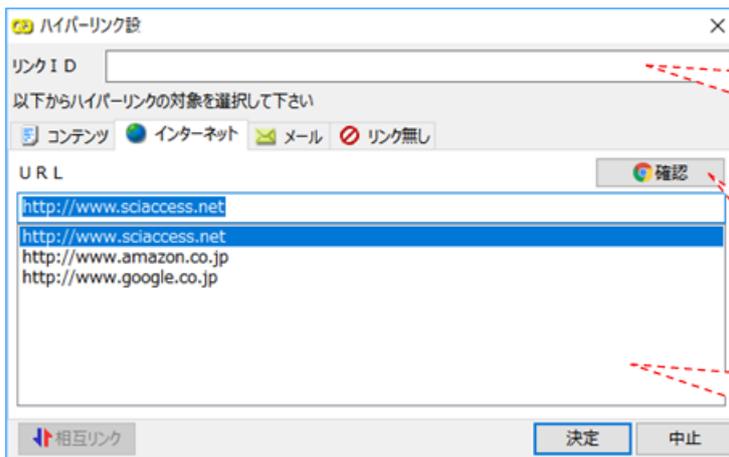
お互いに参照関係を設定するにはこのボタンをクリックします。(リンク ID の設定が必須です)

④ ハイパーリンクを設定するとアイコンが表示されます。



③ Web サイトへのリンク

✉ コンテンツ内のハイパーリンクと同じように、任意の範囲を選択してハイパーリンクの設定画面を開いて  インターネット のタブに切り替えると下記のような画面になります。



リンクIDは省略可能です。
相互リンクなどの場合は設定して下さい。

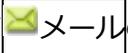
確認ボタンをクリックすると、
選択中のURLをブラウザで表示します。

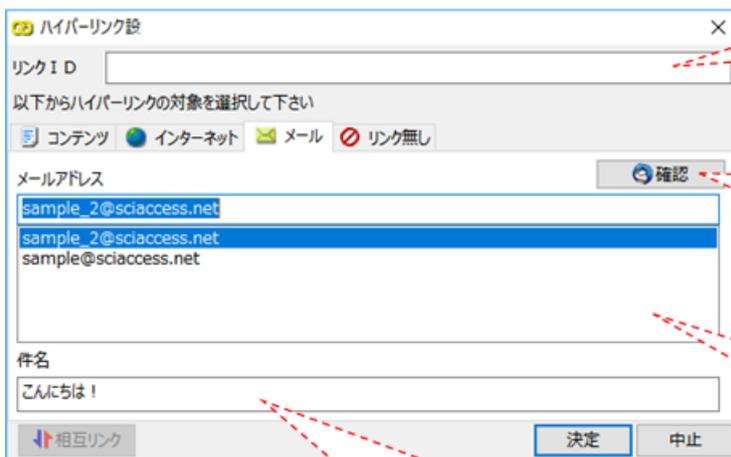
一度入力したURLはリストに
追加されます。
次回の設定時に選択できます。

注意事項

- ・DAISY2.02/EPUB3 プレイヤー側でURLを開く機能をサポートしていない場合があります。
- ・Webサイトはユーザーが選択している標準ブラウザで表示されます。

④ メール送信へのリンク

コンテンツ内のハイパーリンクと同じように、任意の範囲を選択してハイパーリンクの設定画面を開いて  **メール** のタブに切り替えると下記のような画面になります。



リンクIDは省略可能です。
相互リンクなどの場合は設定して下さい。

確認ボタンをクリックすると、
選択中のメールアドレスを使って
標準メールソフトで送信メール
を作成できます。

一度入力したメールアドレスは
リストに追加されます。
次回の設定時に選択できます。

件名は、メール作成時に自動的にメールの件名に
設定できます。省略可能です。

注意事項

- ・DAISY2.02/EPUB3 プレイヤー側でメールを開く機能をサポートしていない場合があります。
- ・メールはユーザーが選択している標準メールソフトで表示されます。

12. ショートカットキー一覧

※ 「キー操作」で、数字の前に『NUM』が付いている場合は、テンキーの数字です。

ファイル操作

	内容	キー操作	説明
	新規作成	Ctrl + N	新規にファイルを作成します。
	開く...	Ctrl + O	既存のファイルを開きます。
	上書き保存	Ctrl + S	作業中のファイルを上書きして保存します。
	印刷プレビュー	Ctrl + Shift + P	ドキュメントの印刷プレビューを表示します。
	印刷	Ctrl + P	ドキュメントを印刷します。
	File Import(*.imlx,* .txt)	Ctrl + Shift + I	ファイルからテキストを取り込みます。
	DAISY 出力	Ctrl + Shift + D	デイジー形式でエクスポートします。
	EPUB3 出力	Ctrl + Shift + E	EPUB3 形式でエクスポートします。

インデックス操作

	内容	キー操作	説明
	インデックスを追加	Alt + Ctrl + I	新しいインデックスアイテムを追加します
	インデックスを削除	Alt + Ctrl + D	選択中のインデックスアイテムを削除します。
	レベルを上げる	Ctrl + [←]	選択中のインデックスアイテムを左に移動します。
	レベルを下げる	Ctrl + [→]	選択中のインデックスアイテムを右に移動します。
	前に移動	Ctrl + [↑]	選択中のインデックスアイテムを上を移動します。

	内容	キー操作	説明
	後ろに移動	Ctrl + [↓]	選択中のインデックスアイテムを下に移動します。
	セクションを分割	Alt + ENTER	編集集中の位置でページを分割します。
	セクションを連結	Ctrl + [+]	選択中のインデックスアイテムを連結します。
	セクションタイトルバー	Alt + T	セクションタイトルバーをアクティブにします。

編集

	内容	キー操作	説明
	切り取り	Ctrl + X	選択範囲の文字列をカットします。
		Shift + DEL	
	コピー	Ctrl + C	選択範囲の文字列をクリップボードにコピーします。
		Ctrl + INS	
	貼り付け	Ctrl + V	コピーされた文字を編集ウィンドウに貼り付けます。
		Shift + INS	
	拡張メタ形式貼り付け	Alt + Ctrl + V	Excel や Word のコンテンツを拡張メタ形式(画像)として貼り付けます。
	全て選択	Ctrl + A	全ての範囲を選択します。

挿入

	内容	キー操作	説明
	表を挿入	Ctrl + Shift + T	カーソルの場所に表を挿入します。
	改ページを挿入	Ctrl + ENTER	カーソル位置に改ページを挿入します。
	短いポーズを挿入	Ctrl + Shift + S	短いポーズを挿入します。
	長いポーズを挿入	Ctrl + Shift + L	長いポーズを挿入します。

	内容	キー操作	説明
	ハイライトを結合	Ctrl + Shift + [+]	カーソル位置でハイライトを結合します。
	ハイライト分割を挿入	Ctrl + Shift + [/]	カーソル位置でハイライトを分割します。
	ハイライト分割 (ポーズ無)	Alt + Ctrl + Shift + [/]	カーソル位置でハイライトを分割します。ただし、ポーズ(無音)は挿入されません。
	分かち書きスペース	Ctrl + W	カーソルの位置に分かち書きスペースを挿入します。
	連文節スペース	Ctrl + Shift + W	カーソルの位置に連文節スペースを挿入します。

検索

	内容	キー操作	説明
	検索	Ctrl + F	テキストや数式の検索をおこないます。
	置換	Ctrl + H	テキストや数式の置換をおこないます。

書式

	内容	キー操作	説明
	テキストモード	Ctrl + T	テキスト入力モードに切り替えます。
	数式モード	Ctrl + M	数式入力モードに切り替えます。
	化学式モード	Ctrl + K	化学式モードに切り替えます。
	TeX モード	Ctrl + Shift + SPACE	LaTeX 入力モードに切り替えます。
	太字(ボールド)	Ctrl + B	選択中の文字や入力モードをボールド(太字体)に設定/解除します。
	斜体(イタリック)	Ctrl + I	選択中の文字や入力モードをイタリック(斜体)に設定/解除します。
	下線	Ctrl + U	選択中の文字や入力モードを下線に設定/解除します。
	ルビの設定	Ctrl + 1	ルビ設定ダイアログボックスを表示します。
		Ctrl + Shift + UP	

	内容	キー操作	説明
	読みの設定	Ctrl + 3	読み設定ダイアログボックスを表示します。
		Ctrl + Shift + DOWN	
		Ctrl + Shift + Y	
	左寄せ	Ctrl + L	カーソル行を左寄せに設定します。
	中央寄せ	Ctrl + E	カーソル行を中央寄せ(センタリング)に設定します。
	右寄せ	Ctrl + R	カーソル行を右寄せに設定します。
	タイトルスタイル	Alt + Ctrl + Shift + I	カーソル位置の行をタイトルスタイルに設定/解除します。DAISY/EPUB3 出力時に見出しとして出力できます。
	ページ番号スタイル	Alt + Ctrl + P	カーソル位置の行をページ番号スタイルに設定/解除します。
		Alt + P	
	複数行のボックス	Alt + Ctrl + G	複数行を枠で囲みます。
	複数行のボックスの設定	Alt + Ctrl + Shift + G	複数行枠の設定を変更します。
	箇条書きスタイル	Alt + Ctrl + L	選択範囲を箇条書きスタイルに設定します。箇条書きの見出しとテキストはタブ[Tab]キーで区切って記述します。
	無音範囲に設定	Ctrl + 0	選択された範囲を無音に設定します。無音範囲はハイライト区切りの影響を受けることはありません。
		Ctrl + Shift + N	
	フレーズ結合/解除	Ctrl + [+]	選択された範囲をフレーズ結合します。フレーズ結合した範囲はハイライト分割されません。
		Ctrl + [*]	
	話者切り替え	Alt + Ctrl + Shift + DOWN	読み上げる話者を切り替えます。
		Ctrl + Shift + V	
	話者の詳細設定	Alt + Shift + V	話者の詳細設定画面を表示します。

表示

	内容	キー操作	説明
	スタイル表示	Alt + Ctrl + S	スタイル表示(&S)
	表示サイズ拡大	Alt + PAGEUP	表示文字サイズを大きくします。(ズームアップ)
	元のサイズで表示	Alt + HOME	表示文字サイズを通常の高さに設定します。
	表示サイズ縮小	Alt + PAGEDOWN	表示文字サイズを小さくします。(ズームダウン)

読み上げ機能

	内容	キー操作	説明
	選択範囲	Ctrl + 5	選択範囲を読み上げます。
		Ctrl + NUM5	
	カーソル位置から後	Ctrl + 6	カーソル位置から後ろを読み上げます。
		Ctrl + NUM6	
	現在の行	Ctrl + 7	現在の行の折り返しまでを読み上げます。
		Ctrl + NUM7	
	現在の段落	Ctrl + 8	現在の行全体を読み上げます。
		Ctrl + NUM8	
	セクション全体	Ctrl + 9	セクション全体を読み上げます。
		Ctrl + NUM9	
	セクションタイトル	Ctrl + 3	現在のセクションのレベルとタイトルを読み上げます。
		Ctrl + NUM3	
	カーソルの文字	Alt + Ctrl + H	カーソルの文字を読み上げる
		Ctrl + 4	
		Ctrl + NUM4	
	カーソルの位置	Ctrl + F1	カーソルの位置を読み上げる

設定

	内容	キー操作	説明
	音声 ON/OFF	Alt + R Ctrl + NUM0	音声出力のオン/オフを切り替えます。
	倍速読み上げ	Ctrl + 2 Ctrl + NUM2	読み上げ速度を通常の2倍の速度で読み上げます。※音声エンジンのサポートする速度以上で読み上げることができません。
	改行読み上げモードの切替	Ctrl + F8	行末の読み上げのON・OFFを切り替えます。
	田町読みモード	Alt + Ctrl + T	田町読みモードをON/OFFします。田町読みモードをONにするとカーソル移動で漢字の詳細を読み上げます。
	テキスト中の記号読み上げ	Ctrl + D	テキスト中の記号の読み上げをON/OFFします。

ハイライト領域編集

	内容	キー操作	説明
	戻す (アンドウ)	Ctrl + Z	
	やり直し (リドゥ)	Ctrl + Y	
	削除 (切り取り)	Ctrl + X	
	貼り付け (ペースト)	Ctrl + V	
	全て選択	Ctrl + A	
	選択した領域を右に移動	Ctrl + [→]	
	選択した領域を左に移動	Ctrl + [←]	
	選択した領域を上移動	Ctrl + [↑]	
	選択した領域を下に移動	Ctrl + [↓]	
	選択した領域を拡大	Ctrl + [+]	
	選択した領域を縮小	Ctrl + [-]	
	読み上げテキストを画像上に表示	F1 または Ctrl + T	
	検索	Ctrl + F	
	置換	Ctrl + H	

ヘルプ

	内容	キー操作	説明
	ショートカット一覧	Alt + Ctrl + Shift + S	ショートカット一覧を表示します。

その他

	内容	キー操作	説明
	編集画面と インデックスの切替	Ctrl + Shift + TAB F1	インデックスウィンドウと編集ウィンドウのフォーカスを切り替えます。
	数式添字モードの切替	Ctrl + F9	数式の添字の読み上げモードを切り替えます。指数とそれ以外での読み方を指定することができます。
	定型句の挿入	F2	定型句挿入パネルを表示します
	タイトル編集を 自動設定	Alt + Ctrl + T	セクションタイトルバーのタイトル編集を自動設定します。
	ハイパーリンク	Alt + Shift + L	選択範囲をハイパーリンクにします。すでにハイパーリンクの場合は設定画面を表示します。
	一行読み上げ	Alt + L	行の折り返し位置までを読み上げます。(自動読み上げと同時に設定することはできません。)
	自動読み上げ	Alt + A	ハイライト機能がONの時に自動的に次の行を読み上げます。
	すべて読み上げ	Ctrl + Shift + A	編集画面に表示中のコンテンツをすべて読み上げます。
	表の列を削除	Alt + Ctrl + Shift + C	表の列を削除します。
	表の行を削除	Alt + Ctrl + Shift + R	表の行を削除します。
	表に列を追加	Ctrl + Shift + C Ctrl + Shift + ENTER	表に列を追加します。
	表に行を追加	Ctrl + Shift + R Shift + ENTER	表に行を追加します。

	内容	キー操作	説明
	横書きスタイル 切り替え	Ctrl + Shift + H	選択範囲の横書きスタイルを切り替えます。枠なし→枠あり→解除の順に切り替わります。
	書式を削除	Alt + DEL	選択範囲の書式設定を削除します。
	読みの設定 (アクセント制御なし)	Alt + Ctrl + Y Alt + Shift + DOWN Ctrl + 4	アクセント制御なしで読み設定ダイアログボックスを表示します。
	行読み上げモードを 切り替え	Ctrl + Shift + F5	行の読み上げモードを切り替えます。
	読み上げモード 切り替え	Ctrl + F5	詳細読み・簡易読み・標準読みのモードを切り替えます。
	話者の置換	Alt + Ctrl + Shift + V	指定された話者を別の話者に置き換えます。
	コンテンツのリロード	F5	
	やり直し	Ctrl + Y	編集操作をやり直します。
	元に戻す	Alt + BS Ctrl + Z	編集操作を一つ元に戻します。
	次のページへ移動	Alt + DOWN Ctrl + PAGEDOWN	次のページへ移動します。
	前のページへ移動	Alt + UP Ctrl + PAGEUP	前のページへ移動します。